

No. 2

社会開発協力部報告書

インドネシア ラジオ・テレビ放送訓練センター 評価調査団報告書

平成4年11月
(1992年11月)

国際協力事業団

社協二
JR
92-044

インドネシア・ラジオ・テレビ放送訓練センター評価調査団報告書

平成4年11月

92
79
CS
ARY

インドネシア
ラジオ・テレビ放送訓練センター
評価調査団報告書

JICA LIBRARY



1115564(5)

平成4年11月
(1992年11月)

国際協力事業団

国際協力事業団

26725

序 文

インドネシア共和国は民族及び文化の多様性を有する島しょ国家であり、国家の統一、近代化の促進等の観点から、ラジオ・テレビを中心としたマス・メディアの果たす役割はきわめて重大である。

このため同国政府は、国家開発計画の重点施策としてラジオ・テレビ放送網の拡充を図っており、それに必要なスタッフの訓練・養成を目的としてマルチ・メディア・トレーニング・センター（MMTC）の設立を計画し、昭和54年9月、わが国に対し協力を要請してきた。

これを受けてわが国は、無償資金協力により施設、訓練機材を供与するとともに、ラジオ・テレビ放送要員の訓練に関し、昭和58年10月21日の討議議事録（R/D）署名に基づき、番組編成、番組制作、報道、制作技術、運行技術および送信技術の各分野についてプロジェクト方式技術協力を開始した。

その後、昭和60年7月のセンター開校時に、日本側との事前の協議もないまま大統領令によりディプロマ制の導入が決定された。これに関し、双方で協議した結果、従来の協力部分に相当するDⅠ（ディプロマⅠ）コースの実施に加え、上級コースとなるDⅡ、DⅢコースの準備に対する協力をを行うことで合意した。

このため当初計画の協力期間終了は、昭和63年10月20日であったが、昭和63年4月の評価調査の結果、DⅠコースのうち1コースが未実施、またDⅡ、DⅢコースの準備が不完全であるとして協力期間を2年間延長した。その後平成2年7月の評価調査の結果、DⅠコース実施の協力は終了したが、DⅡ、DⅢコースの準備に対する協力は不十分として、さらに協力期間を2年間延長した。その後平成3年12月に計画打ち合わせ調査団を派遣し、進捗状況を確認した。

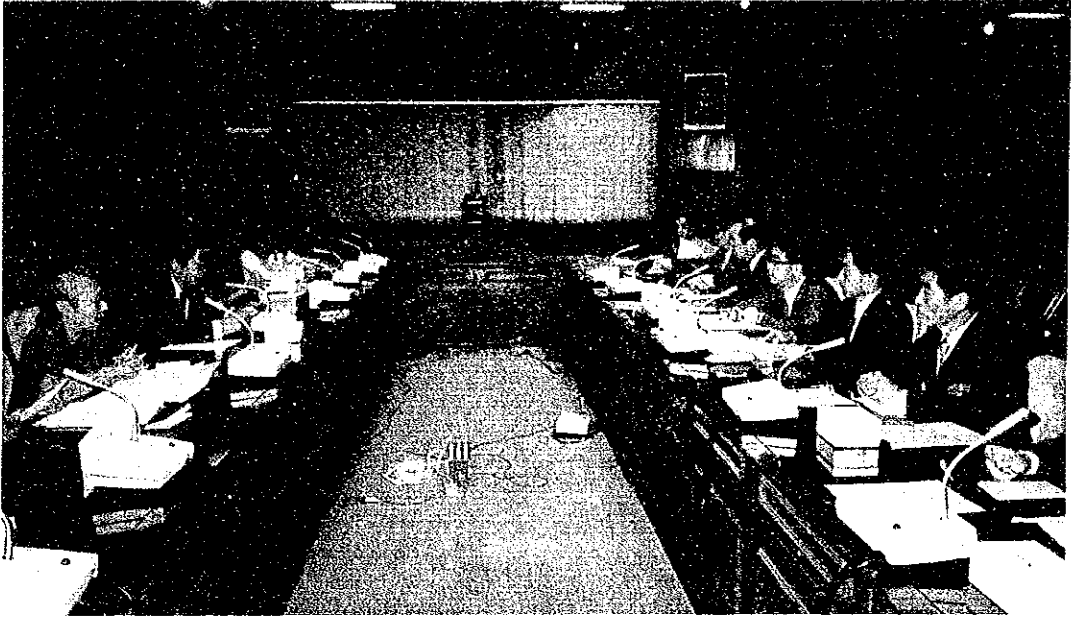
今回当事業団は再延長2カ年の協力期間が、平成4年10月に終了するに先立ち、本2年間の協力に対する評価調査を行うことを目的として、平成4年6月22日から6月30日まで、郵政省通信政策局国際協力課課長補佐 麦島正晴氏を団長とする評価調査団を派遣した。

その結果、所期の目標は協力期間終了までに達成される見込みであることを確認し、わが方の協力を予定通り終了することとした。本報告書は、同調査団の調査、協議結果をとりまとめたものである。

終わりに、今回調査の任に当たられた団員各位ならびにご協力いただいた外務省、郵政省、NHKおよび在インドネシア日本大使館その他関係機関の方々に対し、深甚の謝意を表する次第である。

平成4年11月

国際協力事業団
理事 佐藤 清



合同委員会協議風景



ミニッツ署名

目 次

序 文	
写 真	
1. 評価調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 調査協議結果概要	4
2-1 要 約	4
2-2 団長所感	4
3. プロジェクトの進捗状況	5
はじめに	
3-1 訓練コースの実施状況	6
3-2 カリキュラム整備状況	11
3-3 教科書・教材の整備状況	13
3-4 技術移転状況	16
3-5 供与機材の活用、保守、管理状況	18
4. プロジェクトの実施体制	32
4-1 組織・予算	32
4-2 建物・施設	32
4-3 予 算	32
4-4 合同委員会	32
5. ミニッツ署名	33
6. 今後の協力計画	39
6-1 プロジェクト終了までの実施計画	39
6-2 プロジェクト終了後の方策と今後の課題	39
資料	41
①カリキュラム	
②合同委員会報告書	
③プロジェクト概要説明	

以上

1. 評価調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

インドネシアはラジオ・テレビ放送網の充実と拡充を図る必要があり、放送関係者に幅広い基礎的知識と技能を付与するための手段としてジョクジャカルタにマルチ・メディア・トレーニング・センター（MMTC）の設立を計画した。

わが国は要請を受けて、MMTCで実施される研修コースの技術指導のため1983年から5カ年にわたるプロジェクト方式技術協力を開始すると共に、18億円の無償資金協力によりセンター施設の建設と機材調達を行った。

技術協力に関しては、センターでの研修開始にこぎつけた1985年に突然大統領令が公布され、DⅠ～DⅢの3段階に分けてのディプロマ制がセンターに導入されることが決定された。当初、日本が協力する内容はDⅠに相当するベーシックなものであったが、ディプロマ制導入により、DⅡ、DⅢ実施のための準備に係わるアドバイスをを行う必要が生じ、協力期間の途中でR/Dの一部変更を行った経緯がある。

プロジェクトは1988年10月の終了段階で協力継続の必要性が認められ、2カ年の延長が決定された。

さらに、1990年7月に行われた評価調査の結果、DⅡ、DⅢコース実施の準備のための協力がいまだ不十分と判断され、2カ年の再延長が行われた。

今般、9カ年に及ぶプロジェクトの終了を4カ月弱後に控え、再延長2カ年の目標であるDⅡ、DⅢコース準備への協力の進捗状況を把握し、プロジェクト終了期限である平成4年10月で終了できるかどうかを調査・協議し、本プロジェクトの最終評価を行うことを目的として評価調査団が派遣されることになったものである。

1-2 調査団の構成

団長 総括	麦島 正靖	郵政省国際部国際協力課
団員 番組研修計画	渡辺晋太郎	日本放送協会放送研修センター事業本部
団員 放送技術研修計画	萩原 清邦	日本放送協会海外企画局（海外渉外）
団員 計画評価	篠山 和良	JICA社会開発協力部社会開発協力第二課

1-3 調査日程

日順	月／日	(曜日)	調 査 日 程
1	6／22	(月)	東京→ジャカルタ
2	／23	(火)	J I C A事務所表敬および日程打合せ
3			日本大使館表敬 半田書記官と打合せ
4			国家開発計画省 (BAPPENAS) 表敬
5			情報省次官 EMIR. H. MANGAWEANG 氏表敬
6	／24	(水)	ジャカルタ→ジョクジャカルタ
7			専門家と協議
8	／25	(木)	MMTC関係者との協議
9	／26	(金)	MMTC関係者との協議、ミニッツ案作成
10			追加無償施設見学
11	／27	(土)	ミニッツ作成
12			資料整理
13	／28	(日)	ジョクジャカルタ→ジャカルタ
14	／29	(月)	合同委員会
15	／30	(火)	ミニッツ署名・交換
16			日本大使館表敬、斉藤書記官に帰国報告
17			J I C A事務所帰国報告
18			ジャカルタ→東京 (7／1着)

1-4 主要面談者

(1) 情報省

Mr. Emir H. Mangaweang

Secretary General

Mr. M. Arifin

Head of Bureau of Planning

(2) 国家開発計画省

Drs. E. Surjaman Wiradimadja

Head of Bureau of Religion, Information,
and Law

(3) 内閣官房技術協力局

Mr. Husen Adiwisastra

(4) M M T C

Mr. Hoetojo Hoerip

Director of M M T C

Mr. Togarlumban R.

Deputy Director for Administration

Mr. M. Kosasih

Deputy Director for Engineering

Mr. B. A. Siswantono

Deputy Director for Teaching

Mr. Siswadi

Coordinator of Instructor

(5) 日本大使館

半田 有通

書記官

斉藤 郁哉

書記官

(6) J I C A事務所

高橋 昭

所長

渡辺 学

所員

(7) プロジェクト専門家

上野 重喜

リーダー

小崎 俊彦

専門家

向尾 治

専門家

鷗木 健一

専門家

末満 広志

調整員

2. 調査協議結果概要

2-1 要 約

プロジェクトの進捗状況を調査した結果、DⅡ、DⅢに対する協力はプロジェクト完了時（92年10月）までに終了する見通しであることを、日本・インドネシア双方で確認し、その旨ミニッツにまとめて署名を行った。

2-2 団長所感

今回の評価調査団派遣は、放送分野のODAプロジェクトの代表として挙げられるまでになった本プロジェクトに対し、再延長した2年間の協力の成果を評価することを目的としたものであったが、計9年間のわが方協力の総括として、今後の同センターの自立的かつ持続的な発展のために対処すべき課題について双方で確認するとともに、プロジェクト終了後の方策について話し合うことができた。

結論として、協力期間終了を4カ月後に控え、再延長2カ年の協力の目的であるDⅡ、DⅢコースの準備即ちカリキュラム・教材等の整備に対する協力は、円滑に実施されており、所期の目標が達せられる見込みであると言える。

プロジェクト終了後の方策としては、個別専門家派遣により準備が整ったDⅡ、DⅢコースの実施について当面のフォローを行うことを双方が確認した。

3. プロジェクトの進捗状況

はじめに

これから記述するプロジェクトの進捗状況の出発点は、1991年12月に派遣された計画打ち合わせ調査団とインドネシア情報省次官の間で合意されたミニッツ（1991年12月13日付）である。そこで、そのミニッツの付属文書から上記年月日付けで両当事者がどのようにプロジェクトの進捗について評価し、また、どのような点がその時点以後の課題と考えられていたのかを以下に略記しておきたい。

上記ミニッツの公式名称は「ラジオ・テレビ訓練センタープロジェクトに関する日本側計画打ち合わせ調査団とインドネシア共和国情報省の間の打ち合わせ議事録」(THE MINUTES OF MEETING BETWEEN THE JAPANESE MUTUAL CONSULTATION TEAM AND THE MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA ON THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTER PROJECT)となっており、その付属文書は3つの柱からなっている。

- I 1990年7月以降のプロジェクトの進捗
- II 解決されるべき諸問題
- III 1992年10月20日までの展望

以下、プロジェクトの進捗に関係する部分のみを略記する。

I 1990年7月以後のプロジェクトの進捗

- ・ディプロマ I（以後D I）の実施協力は1990年10月20日までに終了済みである。
- ・ディプロマ II（以後D II）、ディプロマ III（以後D III）の準備についての協力は、現行協力期間満了時点までに完成する見込みであるとしたうえで、次の各点についての判断を明らかにしている。

なお、ディプロマというのは、教育文化省が高等専門学校（アカデミー）の卒業生で、国家試験に合格した者に付与する認定資格で、教育期間に応じて I から IV までの 4 種類がある。ディプロマ IV は学士号と同等資格である。ディプロマ種別と教育年限、認定資格の内容を参考までに掲げておく。

ディプロマ種別	年限	認定内容（職位に直結）
ディプロマ I	1年	assistant skill（補佐技能）
” II	2年	associated skill（専任技能）
” III	3年	senior skill（上級技能）
” IV	4年	supervisory skill（指導技能）

(1) コースの実施状況

- ① D Iについては、5コースとも89/90会計年度には実施されている。
- ② D IIについては8コース中4コースが91/92会計年度に行われている。
- ③ D IIIについては、92/93会計年度に開講を予定している。

(2) カリキュラムとシラバスの改善

- ① 当初予定のカリキュラムとシラバスは日本、インドネシア両サイドの協力によって1990年9月に完了しており、現在は改善作業が行われている。
- ② これまでにおよそ200の教材制作が完了し、更なる制作が現在進行中。
- ③ 教官能力のレベルアップが現在図られつつある。

II 解決されるべき諸問題

- (1) 92/93会計年度に実施が予定されているD II 5コースとD III 3コースの予算がインドネシア政府によって確保されるべきこと。
- (2) コースの実施に合わせて、十分な数の資格ある教官確保を継続すること。
- (3) 実務知識と経験を有する教官確保のため、国営ラジオ (R R I)、国営テレビ (T V R I)、放送訓練センター (M M T C) 間の人事交流を実現すること。
- (4) 設備、施設の保守体制を強化すること。

III 1992年10月20日までの展望

調査団とインドネシア政府は次の各点を確認。

- (1) 日本サイドは特に設備の保守に力点をおいて協力すること。
- (2) IIに述べられた事項を改善するために必要な措置を講ずること。
- (3) 現行協力期間内にプロジェクトのゴールを達成するために最善の努力を払うこと。

以上である。したがって、以下の評価・記述は主として上記の各点を基準にしながら行われることを始めに断っておきたい。

3-1 訓練コースの実施状況

(1) D Iについて

M M T Cのウトヨ・ウリブ所長からの口頭報告のほか、インドネシア側・現地J I C A 専門家チームが作成した各種資料から、1989/1990会計年度以来、毎年5コースが開かれていることを確認した。

5つのコース名は次のとおりで、各コースとも定員24名で実施されている。なおコース定員は30年前にI L Oが途上国の職業訓練に関連したリポートの中で、1クラス24名は定員として好ましい人数の上限として推奨したもので、1981年に始まった無償のF/S調査のとき以来、インドネシア側がこだわり続けてきた数字である。

ちなみに実施されている5コースは次の通りである。

計画された5コース	*85/86	86/87	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92
	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者
番組編成企画	—	—	—	—	$\frac{24}{24}$	$\frac{24}{21}$	$\frac{24}{21}$
番組制作	$\frac{12}{7}$	$\frac{20}{18}$	$\frac{20}{20}$	$\frac{18}{18}$	$\frac{24}{24}$	$\frac{24}{22}$	$\frac{24}{23}$
ニュース・報道	$\frac{12}{6}$	—	$\frac{20}{20}$	$\frac{18}{18}$	$\frac{24}{24}$	$\frac{24}{23}$	$\frac{24}{24}$
資料・主調整運用技術	$\frac{29}{14}$	$\frac{20}{19}$	$\frac{20}{20}$	$\frac{18}{18}$	$\frac{24}{24}$	$\frac{24}{23}$	$\frac{24}{24}$
送信技術	$\frac{19}{13}$	—	—	$\frac{18}{17}$	$\frac{24}{24}$	$\frac{24}{23}$	$\frac{24}{24}$
計	$\frac{72}{40}$	$\frac{40}{37}$	$\frac{60}{60}$	$\frac{72}{71}$	$\frac{120}{120}$	$\frac{120}{112}$	$\frac{120}{116}$

(注) a. 合格者欄は国家試験に合格してディプロマIの資格を授与された者の数。なお合格者数の中には追試験合格者も含まれている。

b. *印の85/86年次生は教育期間が10カ月と、受験資格を得るには2カ月不足していたため、89/90年度の2学期分を補講として受講したうえで、この年の国家試験を受験して合格した者の数を示す。

c. 出典は、「インドネシア ラジオ・テレビ放送訓練センタープロジェクト概要説明」p12～p13(92年6月、インドネシア共和国情報省、国際協力事業団)
<以下、概要説明>

(2) D IIについて

D IIについても、ウトヨ所長からの報告および上記にあげた関連資料により、91/92会計年度に4コースが実施されたこと、現行92/93会計年度に5コースを実施中であることを確認した。コース定員はいずれも12名である。

実施中および将来実施が予定されているコース名は次の通りである。

計画された8コース	89/90	90/91	91/92	92/93
	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者	受講者 合格者
放送番組企画				
部門別番組制作	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$
番組/ニュース原稿執筆	$\frac{11}{11}$	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{11}$	$\frac{12}{12}$
放送パフォーマンス				
放送ジャーナリズム			$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$
スタジオ制作技術	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$	$\frac{12}{12}$
修理技術				
送信技術				$\frac{12}{12}$
計	$\frac{35}{35}$	$\frac{36}{36}$	$\frac{48}{47}$	$\frac{60}{未定}$

(注) a. 合格者欄は国家試験に合格してディプロマⅡの資格を授与された者の数。
b. 出典は、前掲「概要説明」p14

(3) DⅢについて

DⅢについても、DⅠ、DⅡ同様に、予定されている11コース中3コースが現行92/93会計年度に実施されていることを確認した。実施状況は次のとおりである。

計画された11コース	92/93の実施コース
放送管理	-----
ニュース・報道番組制作	-----
教育、宗教番組制作	-----
文化・娯楽番組制作	8
番組構成法	8
台本執筆作成	-----
スピーチ・ドラマ演技	-----
ポスプロ・送出運行技術	8
スタジオ・制作技術	-----
送信技術と保守	-----
スタジオ保守・主調整技術	-----
計	24

(注) a. 出典は、前掲「概要説明」p15。国家試験は未だ行われていない。

(4) ディプロマ・コース以外の訓練実施状況

MMTCの設備はインドネシア国内のみならず、東南アジア地域でも最も完備したものであるため、本来目的以外の短期職能訓練にも頻繁に利用されている。主催者もMMTC、TVTC（ジャカルタ）、RTC（ジャカルタ）といったインドネシアの放送関係訓練機関のみならず、ガチャマダ大学（ジョクジャカルタ）、Akmil Magelangといったインドネシア国内の大学、高等専門学校や海外の放送訓練機関であるAIBD（マレーシア）、海外の文化機関であるゲーテ・インスティテュートやメーカーであるコダック・オーストラリア等、多彩である。昨年度までに合計31コースが開かれ、550人の人達が参加している。このうち、インドネシアの放送訓練機関である上記MMTC、TVTC、RTCおよび放送機関であるTVRI、RRIのいずれかが主催または共催したものは下表のとおりである。

年 度	コ ー ス 名	期 間	参 加 数	主 催
85/86	・テレビ番組制作	35日	22	TVTC
86/87	・テレビ送信技術	90	24	MMTC/TVTC
	・ラジオ送信技術	39	25	C/RT
87/88	・テレビ美術デザイン	19	16	MMTC
	・ラジオ番組制作（プロデューサー）Ⅰ	40	20	RTC
	・テレビ・スタジオ技術	210	12	TVTC
	・テレビドラマ制作研究	30	20	RTC
	・ラジオ送信機保守	40	20	RTC
	・マイクロウェーブ技術	21	12	TVTC/RTC他
	・ラジオ番組制作（プロデューサー）Ⅱ	40	20	RTC
	・ラジオ・テレビ技術入門	20	10	MMTC他
・ラジオ・テレビ放送管理	7	19	MMTC他	
88/89	・テレビ送信技術入門	90	18	TVTC
	・ローカル放送	40	18	TVRI他
	・職能訓練	90	15	MMTC
	・ラジオ送信技術保守	40	20	RTC
	・ラジオ・アナウンス基礎	40	?	RTC
	・テレビ送信技術測定	31	12	TVTC他
	・教授法	12	15	MMTC他
	・伝統的メディア	12	15	MMTC他
	・テレビ・ドキュメンタリー／特集	6	19	MMTC他
	・放送管理への応用統計学	22	15	MMTC他
	・先進技術の諸相	24	15	MMTC他
89/90	・カラーテレビ照明技術	11	33	MMTC他
	・農業番組に関するスタジオ一般	5	30	MMTC他
	・ラジオ番組制作	8	14	MMTC他
	・民間療法についてのラジオ番組ワークショップ	4	10	MMTC他
90/91	(な し)			
91/92	・教官訓練	36	24	TVTC/MMTC
	・			
計		1,042	493	

(注) a. 出典は、前掲「概要説明」p20. 国家試験は未だ行われていない。

(参考文献)

- ① 概要説明
- ② インドネシア ラジオ・テレビ放送訓練センター 略年表
- ③ RENCANA PENYELENGGARAAN DIKLAT DI, DI, DI / JURUSAN RADIO TELEVISI / DIKLAT AHLI MULTIMEDIA YOGYAKARTA (DI, DI, DI 教育実施計画 / ラジオ・テレビジョン分野 / MMT C ジョクジャカルタ) <以下、実施計画>

3-2 カリキュラムの整備状況

今回の評価調査団は、インドネシア側との協議と現地調査、現地 JICA 専門家との意見交換により、D II、D III のシラバスとカリキュラムの準備は日伊双方の協力で既に一昨年 9 月に終了し、現在は、①改善作業が行われていること、②改善作業は現協力期間内に完成する見込みであることを確認した。

なお、カリキュラムの全容については巻末の“MMTC CURRICULUM / 1992 / 1993 / DIPLOMA I、II、III / MULTI MEDIA TRAINING CENTER”を参照されたい。

ここでは、ほぼ準備を完了したとされている上記資料に即しつつ、訓練専門家の目で気づいた所見を以下に指摘しておきたい。

(1) コンピュータ・グラフィックス (CG) の追加について

インドネシア側との協議の中で D II および D III の専門科目に CG を早急に加えたいという希望が強く表明された。理由はジャカルタ中央放送局に CG 機器が入ったことにより、MMTC でこれを教える必要が生じたからということであった。しかし、聞いてみると、本格的な CG ではなく、DVE のようであった。NHK 放送研修センターで実施している JICA 集団コース「番組制作」でもアニメーションと並んで人気の科目であることを考えると、もっとも理解できる。現地専門家の意見も聞いたうえで、DVE であれば協力することが望ましいように思う。但し、本格的な CG となると日本でも専門家は極めて限られていることを考えると導入は難しいように思われる。

(2) モジュール・システムの放棄について

1982 年の事前調査以来、インドネシア側が固執したカリキュラム編成法は、モジュール方式であった。D I のカリキュラムは日本側のイニシャティブで作成されたものであるが、方法論としてはモジュール方式に従った。モジュール方式の特徴は 3 点に要約される。

- ① 訓練科目のベースになるシラバス (学習項目) は、実際の業務の分析の中から作られる。
- ② 各科目に要する学習時間を決定するのは学習者である。各科目についての知識技術は、学習者の現在の業務および過去の経験、教育歴により異なる。したがって各科目の修得

に要する時間は個人によって異なる。インドネシアの場合では、学校制度上は同レベルにある者の地域的学力差がきわめて大きいことが指摘されたことから、科目ごとに獲得すべき知識・技能水準を明確にし、それをクリアできた者が次の科目（モジュール）に進めるように配慮する。

- ③ 将来、任意の時期に学生が入ってくることがあっても対応できるように、科目間の論理的関連にあまりとらわれなくて済むように工夫する。

しかし、MMTCは開講と同時に企業内教育機関から教育文化省がディプロマ資格を授与する一般高等教育機関に性格が変わったことから期間を最重視することとなった。

以後、モジュール・メソッドは言葉上のものだけになり、カリキュラム編成の思想の実態は伝統的なコース方式に依ることとなった。これにより、カリキュラム制作の作業はシンプルになり、能率的になったと考えられる。

(3) シラバスとカリキュラムの混同について

日本側にもインドネシア側にもシラバスとカリキュラムの混同があるように思われる。例えば、ある資料では「カリキュラムとシラバスの改善」といった言葉づかいがなされている。

シラバスというのは、あくまでも学習項目をリストにしたものをいう。そのシラバスをもとに、次のような点を考慮しつつ作成されるのがカリキュラムである。即ち、

- ① 最終的にどの学習項目を取り上げるか。
- ② どの学習項目とどの学習科目をまとめて科目または学課を作るか。
- ③ 学習項目のそれぞれにどのくらいの時間をかけるか。
- ④ どういう順序で実施するか。どんな教材を使うか。どういう方法で教えるか。

要するに、シラバスはカリキュラムを作るための原材料、半製品ということが出来る。カリキュラムが作られた後にシラバスが確定するのではない。

(4) 一般科目への追加が望ましい科目

D I～D IIIまでのカリキュラムは同じパターンを取っている。すなわち

第1部：一般科目、第2部：基本技能科目、第3部：技能科目、第4部：共通科目となっている。第2部、第3部はコースごとに異なっているが、第1部と第4部は下表のとおり、コース横断的な科目になっている。

課程	コース名	科目名	
		第1部	第2部
D1	①番組編成企画 ②番組制作 ③ニュース・報道 ④スタジオ・主調整運用技術 ⑤送信技術	宗教／バンチャラ／インドネシア語 ／英語／文化基礎 (②では他に番組資料編集入門が必要)	野外授業レポート・ライティング／ スポーツと健康／情報省の制度と組織／(①と②以外では「業務の安全管理」が加わる)
D2	⑥部門別番組制作 ⑦番組／ニュース原稿執筆 ⑧放送ジャーナリズム ⑨スタジオ制作技術 ⑩送信技術	軍事情／英語／インドネシア語 ／視聴者調査(⑥では不要。また、⑨と⑩ではインドネシア語、視聴者調査とも不要)	野外授業レポート・ライティング／ スポーツと健康／業務報告書(⑧のみ必要)／業務の安全管理(⑧⑨⑩に必要)
D3	⑪文化・娯楽番組制作 ⑫番組構成法 ⑬スタジオ・送出運行技術	英語／インドネシア語	科学的な仕事の進め方／ スポーツと健康／(⑬では業務の安全管理が必要)

今後も日本の技術移転を考えるとすれば、一般科目の中に是非、日本語を含めることが有効である。技術は文化と離れては存在せず、文化は言語を離れては存在しないからである。また、マス・メディアもコミュニケーションの1分野であるから、ヒューマン・コミュニケーション学、異文化コミュニケーション学があるべきではないか。同じく技術史、エレクトロニクス発展史なども放送分野で働く者には是非欲しい知識である。

また、第4部にはドキュメンテーション技術、ファイリング技術、ワープロ実習等、どんな業務にも共通に必要な科目をなぜ用意しなかったのかという疑問を覚える。

(参考文献)

- ① MMTC CURRICULUM 1992/1993 DIPLOMA I・II・III MULTI MEDIA TRAINING CENTER
<以下、「カリキュラム」>

3-3 教科書・教材の整備状況

(1) 概況

D II、D IIIとも本年度使用分までは完成しており、現在は来年度以後開設されるコースの教科書、教材を整備中であること。そのうち基本的なものについては本年10月20日までの協力期間内には整備される見通しであり、その他についてはインドネシア側で独自開発

が可能だという説明をインドネシア側との協議の際に受けた。また、同趣旨のことを現地 JICA 専門家からも説明があった。

(2) 種類別整備状況

1992年6月現在、インドネシア側専門家、JICA 専門家によって、または共同で制作された教科書および購入された印刷教材等は次のとおりである。

① 教科書・プリント教材

内容分類	インドネシア側の執筆	日本側の執筆	共同執筆	購入教材 (他加以外)
編成関係	5種類	13種類	8種類	4種類
報道関係	1種類	17種類	10種類
制作関係	33種類	不明	不明
技術関係	33種類	11種類	12種類	(25種類)

② ビデオ教材

教育もの（動物学、植物学等）、自然もの（アジアの自然、絹の誕生等）、文化紹介（禅寺、日本の結婚式等）、洋画（マイ・フェア・レディ、ローマの休日等）、邦画（東京物語、彼岸花等）、NHKのスペシャル番組（ポロロッカ・アマゾンの大逆流等）、NHKドラマ番組（独眼竜政宗、連続テレビ小説等）、教育番組（数学等）など、各ジャンルのビデオ（ β cam, VHS）104本が資料として利用出来る状態になっている。

(3) 現地 JICA 専門家の評価による教材準備状況

評価基準：A = 完成、コースは十分に実施可能 B = はほぼ完了、コース開始可能
C = 準備中、コース開始、近々可能 D = 計画段階

ディプロマ種別	コース名	実施開始(予定)年	テキスト・理論	テキスト・応用	テキスト・実習	マニュアル	視聴覚教材	総合評価
I	PROGRAMME COMPILATION PLANNING 番組編成企画	1989	A	A	A	=	A	A
	PROGRAMME LINES PRODUCTION 番組制作	1985	A	A	A	=	A	A
	NEWS & CURRENT AFFAIRS ニュース報道	1985	A	A	A	=	A	A
	STUDIO & MASTER CONTROL TECHNIQUE OPERATION スタジオ及び主調整の運用技術	1985	A	A	A	=	A	A
	TRANSMISSION OPERATION 送信技術	1985	A	A	A	A	A	A
II	PROGRAMMES BROADCASTING PLANNING 放送番組企画	1992	A	A	A	=	A	A
	PROGRAMME PACKAGE PRODUCTION 部門別番組制作	1989	A	A	A	=	A	A
	BROADCAST JOURNALISM 放送ジャーナリズム	1991	A	A	B	=	A	A
	SCRIPT/STORY WRITING 番組・ニュース原稿執筆	1989	A	A	B	=	A	A
	BROADCASTING PERFORMANCE 放送パフォーマンス		C	C	C	=	B	C
	STUDIO PRODUCTION TECHNIQUE スタジオ制作技術	1989	A	B	B	A	A	A
	TECHNICAL REPAIR FOR STUDIO & MASTER CONTROL EQUIPMENT スタジオ・主調の修理技術		A	B	B	A	A	A
	TRANSMISSION TECHNIQUE 送信技術	1992	A	A	B	A	B	A
	BROADCASTING MANAGEMENT 放送管理		B	B	D	=	C	C
	PROGRAMME NEWS & INFORMATION PRODUCTION ニュース情報番組制作	1994	B	C	C	=	B	B
PROGRAMME EDUCATION & RELIGION PRODUCTION 教育宗教番組制作	1993	A	A	B	=	A	A	
PROGRAMME CULTURAL & ENTERTAINMENT PRODUCTION 文化・娯楽番組制作	1992	A	A	B	=	A	A	
TECHNICAL & ARTISTIC PRODUCTION DESIGNS 番組美術デザイン		A	B	B	=	C	B	
SCENARIO & STORYBOARD WRITINGS 台本執筆	1992	A	A	B	=	A	A	
PUBLIC SPEECH & DRAMA CASTINGS 演説及びドラマ演技・配役		C	C	C	=	B	C	
PRODUCTION STUDIO ENGINEERING スタジオ制作技術	1992	A	B	A	=	A	A	
POST PRODUCTION & MASTER CONTROL ENGINEERING ポスト・プロダクション・主調整技術		C	C	C	B	C	C	
TRANSMISSION ENGINEERING & MAINTENANCE 送信技術と保守		B	C	D	B	C	C	
STUDIO & MASTER CONTROL EQUIPMENT MAINTENANCE ENGINEERING スタジオ及び主調の保守技術		B	C	C	B	C	C	

3-4 技術移転状況

(1) 概況と雑感

1983年10月21日にR/Dが成立して以来、さまざまな形で技術協力が行われてきたが、技術移転はそんな中でも目に見える協力として成果を実感出来るものであった。

カウンターパートの日本での研修が始まったのは、放送訓練センターがオープンする半年前であった。以来、この夏までに50人のカウンターパート研修が日本で行われた。訓練センターの全職員数が149名であることを考えれば、いかにカウンターパート研修に日本側の力が振り向けられてきたかが分かる。

他方、専門家を派遣してOJTベースでの技術移転が始まったのは1984年4月からであった。以来、現在までに23人の長期専門家と延べ36名の短期専門家が現地に派遣された。今回、現地を見て初めに感動を覚えたのは教官や担当スタッフたちの自信に満ちた表情、態度であった。日本で学んでいたときの、あるいは現地で指導したときの印象は正直言って、あまり期待のもてるものではなかつただけに驚きであった。

変わっていたのは表情や態度だけではなかつた。公式、非公式のミーティングを重ねるにつれて、彼らの思考方法、思考の深さまで変わっているのに接して驚きは更に大きくなった。この変化は派遣専門家達の努力と日本での研修とジョクジャカルタの放送訓練センター(MMTC)での実務経験の三つが相乗効果となって働いた結果であろうと納得出来た。それにしても、あんなにも頼りなくみえた人たちがこんなにも頼りがいのある、力強いスタッフ・教官に育つとは、誰が想像出来ただろうか。技術協力を始めて間もなく9年になるが、改めて歳月の重さを実感させられた。

感想ばかりでは報告書にならない。驚異的な事実を挙げておきたい。それは無類の定着率の高さである。上にも述べたが、日本でのカウンターパート研修に参加した50名のうち、民放局に移って行ったのはわずか1名だけだという点である。もちろん、現在では昇進して、地方局やジャカルタ中央局で活躍している人達が6名ほどいる。また、病死した者が1名いる。今、バンドン放送局長をしているハリム・ナシルは1984年1月から4月まで行われた最初のカウンターパート研修に参加してきて、MMTC立ち上がりの大切な時期、番組制作関係のカリキュラム開発や教官指導、訓練センター運営に指導力を発揮した人であるが、この人が間もなく、局長の任期を終え、再度MMTCに教官として戻って来ると聞いた。MMTCの今後の発展に大きな貢献を期待出来る。

JICA専門家のカウンターパートとなる人たちの給与は平均して、月額25~30万ルピア(16500~20000円)である。他方、民放局に引き抜かれていった職員に提示された月額給与は300万ルピアだったという。今、その彼は400万ルピアに昇格していると聞いた。「こんなに格差があるのになぜ放送訓練センターに留まるのか」と尋ねてみた。「人生は

カネだけではない。ここで毎年入ってくる若い人達に教えるという仕事を通して、国造りに参加しているのだという実感が持てるし、何よりも教えることは自分の使命と思えるのだ。それに将来また、日本で勉強できる機会があるかも知れない」と30代後半の技術担当教官が答えてくれた。

(参考文献)

- ① 「略年表」 p18『長期専門家派遣実績表』
- ② 「略年表」 p19『短期専門家派遣実績表』
- ③ 「略年表」 p20~21『日本でのカウンターパート研修状況』

(2) 現地 J I C A 派遣専門家によるカウンターパートの評価

J I C A 専門家達は、評価項目を次のように設定し、各カウンターパートごとに能力評価を行い、総合所見を記述した資料を作成していた。個人の能力評価なので、生のまま提示することは差し控えるが、資料価値もあると思われるので、概況のみをまとめてみた。

<評価項目>

- ① 技術習得状況
- ② 教科指導能力
- ③ 実技指導能力
- ④ 教材制作能力
- ⑤ 訓練計画作成能力
- ⑥ 機材操作能力
- ⑦ 機材管理能力
- ⑧ 訓練評価能力
- ⑨ クラス運営能力
- ⑩ 総合評価

各項目とも A～C の 3 段階評価になっており、その意味するところは次のようになっている。

A : 調査時点 (92年6月1日) で技術移転完了。

B : R / D 終了時までには技術移転完了見込み。

C : R / D 終了時までには技術移転完了は困難 (引き続き指導が必要)

次の表は職種専門別に、総合評価がどのように分布しているかを示している。

カウンターパートの専門職種	評価母数	総合評価		
		A	B	C
① 番組編成関係	5名	5名	----	----
② ニュース・報道関係	4名	4名	----	----
③ 番組制作関係	2名	2名	----	----
④ 制作技術関係	6名	3名	3名	----
⑤ 送信技術関係	3名	1名	2名	----

個々の項目ではC評価の人が制作技術関係で2名、送信技術関係で1名いるが、総合評価ではCの人は1人もいない、というのが現地JICA専門家の評価である。

3-5 供与機材の活用、保守、管理状況

機材の活用と管理状況を表Aに示す。次に、機材の保守である故障、修理状況を表Bに示す。機材の管理については表Aに示すとおり、極めて良好である。一部には、管理が優先しすぎて使いづらいとの意見も出ているが、より良い管理方法が見出せないのが現状である。機材の保守、管理の程度を表す指標として年度ごとの保守経費支出の推移を表Cに示す。

技術協力 1984年度供与機材 活用・管理状況

1992. 6.1 現在

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
1 共用事務機材							
(1) コピーマシン (FT-4060)	2	A	A				
(2) タイプライダー (EX-43N)	5	A	A				
(3) 電 卓 (SL-1000, FX-960)	8	A	B				
(4) 月間予定表板 (900 ×1800mm)	4	A	A				
(5) パーソナルコンピュータ (PC-8801 MK)	3	A	A				
(6) 英文リブソフト (PC8801 用)	3	A	A				
(7) プロッター (NP-1000-31)	2	B	A				
2 車 両							
(1) 自動車 (オートバイ用タイプ)	2	A	A				
3 測 定 機 器							
(1) 電界強度測定器 (H262E)	1	A	A				
(2) 電界強度計 (4193A)	1	B	A				
(3) 高電圧高帯域プローブ (PG015)	2	B	A				
(4) 周波数変換器 (HH650A)	1	B	A				
(5) 階段波ユニット (TG-5E/2用)	2	A	A				
(6) 低周波特性測定器 (DPA-221A)	3	A	A				
(7) オシロスコープ (CS-1022)	10	A	A				
4 番組制作用 機材							
(1) ベータレコーダ (BNC-100)	1	A	A				
(2) ベータ-VTR (SL-F3)	1	A	A				
(3) カラーモニター (KX-1211HG)	1	A	A				
(4) ビデオカセットテープ (L-5000HG)	20	A	A				
(5) 充 電 器 (AC-M100)	1	A	A				
(6) 予備バッテリー (NP-11)	1	A	A				
(7) スピーカー (SS-X1A)	1	A	A				
(8) オーディオケーブル (RK-C74)	1	A	A				
(9) 各種部品、コード、工具	1	A	A				

A:優 B:良 C:可

表A 技術協力 1985年度供与機材 活用・管理状況 (1)

1992. 6.1 現在

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
1 番組制作用 機材				(3) オーディオ機器	1	A	A
(1) VHS-VTR (HR-7600MS)	1	A	A	(4) モニター機器	1	A	A
(2) ベターマックス (SL-T50MB)	2	A	A	(5) VTR装置 (3/4" Uマック)	1	A	A
(3) UマックVTR (BVU-800 NTSC)	1	A	A	(6) 通信機器	1	A	A
(4) UマックVTR (BVU-800P PAL)	1	A	A	(7) マイ放送受信機器 (TVL-113G)	1	A	A
(5) カラービデオモニター (PVH2010QM)	5	A	A	(8) 車 両	1	A	A
(6) 音声モニター (タケト 2055)	3	A	A	(9) 消耗部品、修理用品	1	A	A
2 共用事務機材				7 教室用 機材			
(1) ホワイトボード (900×1800mm)	5	A	A	(1) ホワイトボード	5	A	A
(2) OHP (HP2450)	5	A	A	(2) OHP	5	A	A
(3) 35mmスライドプロジェクター	1	A	A	(3) 35mmスライドプロジェクター	1	A	A
(4) 電卓 (fx-961)	25	A	A	(4) VHS-VTR (NTSC, PAL, SECAM)	3	A	A
				(5) β-VTR (NTSC, PAL, SECAM)	2	A	A
3 写真機材				(6) Uマック-VTR (BVU-800P)	1	A	A
(1) 35mmカメラ (7比ペンタックス-QA-A)	2	A	A	(7) 1/2"VHS-VTR カセットテープ (120'用)	50	A	A
(2) ポラロイドカメラ (M-085D)	2	A	A	(8) 1/2"β-VTR カセットテープ (120'用)	50	A	A
(3) 双 眼 鏡 (7×50 7×35)	2	B	A	(9) Uマック-VTR カセットテープ (60'用)	40	A	A
(4) カセットプレーヤー (TRK-6701W)	5	A	A	(10) カラーモニター (20型TC-AL2100)	7	A	A
(5) 色立体	2	B	B				
(6) 電気冷蔵庫 (R305CH)	2	A	A	8 番組制作用 機材			
				(1) ステレオ音声テープレコーダー (TC-D5)	5	A	A
4 撮影用 機材				(2) 音声テープ編集機 (TCD-5)	5	A	A
(1) カマフラ (BVW-3AP, VTR一体型)	1	A	A	(3) 音声用 6mmテープレコーダー (6" リール)	50	A	A
(2) ズームレンズ (BVW-3AP用)	1	A	A	(4) ベターカム VTR再生機 (BVW-20)	1	A	A
(3) 電池 (NP-1, NI-CAD)	4	A	A				
(4) 充電器 (BC-1WA)	2	A	A	9 送信用 機材			
(5) 三脚及び雲台	1	A	A	(1) FMステレオ送信機 (FBN-11, 1kW)	1	B	A
(6) ビデオカセットテープ (HG-20)	100	A	A	(2) 中波AM送信機 (RM-41JS, 1kW)	1	B	A
				(3) 中波二重給電装置 (DX-41A)	1	B	A
5 教育用 機材				(4) UHF7チャンネル 共用装置 (50CU-12)	1	B	A
(1) 教育実習機材 (ITF-01 ~ -05)	15	B	A	(5) SSB送信機 (NSD-515)	2	B	A
(2) 回路テスター (JP-8D)	15	A	B	(6) SSB受信機 (NRD-515)	2	B	A
(3) ディップメーター (DMC-230S)	3	B	A	(7) リニアアンプ (TL-922)	3	B	A
(4) アンテナアナライザー-1 (AZ-1)	3	B	A				
				10 実習用 機材			
6 テレビ中継車用 機材				(1) マイクロウェーブ実習用セット	3	A	A
(1) カラーテレビカメラ (MNC-100)	2	A	A	(2) 波形モニター (1481-C)	3	A	A
(2) ビデオ機器	1	A	A	(3) フォンクォンタリゼーター (FG-270)	15	A	A

A:優 B:良 C:可

技術協力 1985年度供与機材 活用・管理状況 (2)

1992. 6.1 現在

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
(4) 簡易電測器 (KTV-603 II)	3	A	A				
(5) スイッチャーエック (TG-5E用, PAL)	2	A	A				
(6) オシロスコープ (CS-1022)	5	A	A				
(7) リープII用ソフ (PC-8801 mk II用)	3	B	A				
1 1 音声継用機材、ラジオカー							
(1) 放送中継用FM送信機 (5W)	1	A	A				
(2) 放送中継用FM受信機 (150MHZ)	1	A	A				
(3) ラジオカー (BB-1970.)	1	A	A				
1 2 車 籍							
(1) マイクバス (BB20R-MDR, 26人乗)	1	A	A				

A:優 B:良 C:可

技術協力 1986年度供与機材活用・管理状況

1992. 6.1 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
1 テレビ中継車機材				4 テレビ用アンテナ部品			
(1) カラーテレビカメラ (MNC-100)	2	A	A	(1) アンテナ部品	6	B	A
(2) ビデオ機器	1	A	A	(2) 給電線部品	1	B	A
(3) オーディオ機器	1	A	A	(3) デハイドレーター (簡易型)	1	B	A
(4) モニター機器	1	A	A				
(5) VTR装置 (3/4" Uマック)	1	A	A	5 TV方式変換装置 (LT/210)	1	A	A
(6) 通信機器	1	A	A				
(7) マイク送受信機器 (TVL-113M)	1	A	A				
(8) 車 輦	1	A	A				
(9) 消耗部品、修理部品	1	A	A				
2 番組制作用機材							
(1) 編集機 (2XP-VTR/1XP-VTR)	1	A	A				
(2) UマチックVTR (編集用)	2	A	A				
(3) TBC (Uマック用)	2	A	A				
(4) ベータカム編集機 (PAL N/TBC)	1	A	A				
(5) 9ピンソケットフェイス (BVE-800用)	3	A	A				
(6) 映像/音声スイッチ (BVE-800用)	1	A	A				
(7) ビデオモニター (13", 4-SYSTEM)	3	A	A				
(8) 編集卓	1	A	A				
(9) モニターデスク	1	A	A				
(10) サイドラック	3	A	A				
(11) 音声ミキサー (12-CHANNEL)	1	B	A				
(12) 音声モニター (2-SPEAKER)	1	A	A				
(13) コンデンサーマイク	1	A	A				
(14) その他各種部品	1	A	A				
3 測定機器							
(1) ステレオFM放送用測定装置 (GE502)	1	B	A				
(2) 低周波特性測定装置 (DPA-221A)	1	A	A				
(3) オンロスコープ (VP-5102B)	2	A	A				
(4) 簡易低周波発振器 (VP-7422)	1	A	A				
(5) 可変抵抗減衰器 (600Ω 121dB, 75Ω 91dB, 50Ω 81dB 押入れ)	各	A	A				
	2						

A:優 B:良 C:可

技術協力 1987年度供与機材 活用・管理状況

1992. 6.1 現在

機 材 名	数 量	活 用	管 理	機 材 名	数 量	活 用	管 理
1 教室教材用具				4 スタジオ用具			
(1) 発動発電機(220V 1kVA EM-1400X)	2	A	A	(1) カメラクレーン (TK-28)	1	A	A
(2) コピーマシン (FT-4065)	2	A	A	(2) コパ・外デ・イクブレヤ セット	1S	A	A
(3) 接写装置 (2387-540)	1	B	A	(3) グランドピアノ (CTE)	2S	A	A
(4) 音声テープ高速スピニングマシン(CCP200)	1	B	A				
(5) スポットライト (3010-540, TSN-1)	2	B	A				
(6) フレキシブルスタンド(2247-110)	5	A	A				
2 強電実習用具							
(1) 変圧器実験装置 (C-5720)	1	B	A				
(2) 実験用負荷装置 (LC, LL, LR)	3	B	A				
(3) 誘導電圧調整器 (2kVA, RVR-302)	1	B	A				
(4) 変圧器 (TA-5kVA)	1	B	A				
(5) シーケンストレーナー (RS-11A)	1	B	A				
(6) クランプ電力・力率計 (3163)	2	B	A				
(7) クランプ漏洩電流計 (3263)	2	B	A				
(8) 電池式メガオーム計 (3110-01, ~ -05)	5	B	A				
(9) 検相器 (3122)	5	B	A				
3 弱電実習用具							
(1) 交流ブリッジ (LCR-6)	1	A	A				
(2) 可変抵抗減衰器 (RA920, UBA761A)	4	A	A				
(3) ダイアル抵抗器 (RD-54LA)	2	A	A				
(4) 摺動抵抗器 (3310-550, SR-3)	2	A	A				
(5) 電気計器 (DC, AC 電流、電圧計)	16	A	A				
(6) 直流電源 (LPS-160-3)	12	A	A				
(7) スライダック (S-260-5)	5	A	A				
(8) 周波数カウンター (EUC-6)	1	A	A				
(9) TG-5ユニット (20TA [※] 兼用, 3U4B)	1	A	A				
(10) Qメーター (MQ-1601)	1	B	A				
(11) 真空管試験機 (VG-4G-N)	1	B	A				
(12) スポットライト (3010-540, TSN-1)	1	A	A				
(13) SWR形電力計 (SP-350)	1	B	A				
(14) UHF受信機 (GRECOM 50DS)	1	B	A				
(15) 高周波電流計 (2016-01, 02, 03)	3	B	A				

A:優 B:良 C:可

技術協力 1990年度供与機材活用・管理状況 (1)

1992. 6.1 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
1 スタジオ実習用機材				5 視聴覚教育機材			
ステレオ位相モニター (MODEL-5835)	2	A	A	1) ビデオプロジェクションシステム			
超小型CCDカラーカメラ (MRC-100)	1	B	A	① プロジェクター本体 (VPH-1041QM)	2	B	A
(同上 標準付属品一式を含む)				② リモートコントロール (VPR-722S)	2	B	A
2 屋外取材実習用機材 ~ 映像 ~				③ フロアーベDESTAL (SU-722)	1	B	A
1) βCAM 一体型カメラ 一式				④ サスペンション (PSS-100)	1	B	A
① カメラ本体 (BVW-200P)	4	A	A	⑤ サスペンションサポート (PSS-722)	1	B	A
② ズームレンズ (J13×9BI-BA)	4	A	A	⑥ 100吋スクリーン (VPS-100HG1)	2	B	A
③ 三脚ドロー (VSR-3000SD)	4	A	A	⑦ スクリーンスタンド (VSS-100)	2	B	A
④ バッテリー (NP-1B)	20	A	A	2) コンソールデスク (SU-601)	2	B	A
2) 8ミリビデオカメラ 一式				3) カラーテレビ受像機 (KV-2184MKTJ)	10	A	A
① 8ミリカメラ本体 (EVO-9100P)	10	A	A	4) ビデオ 機外 レコーダー (SL-700MEK)	7	A	A
② 付属品一式	10	A	A	5) ビデオ 機外 レコーダー (NV-G500EM)	7	A	A
③ 収納用トランク (EVO-9100CASE)	10	A	A	6) カラービデオモニター (PVM-1910Q)	2	A	A
④ 専用電池 (NP-77H)	20	A	A	6 ポストプロダクション用機材			
⑤ 専用テープ (P5-60MP)	100	A	A	1) 映像スイッチャー (SEG-2550AP)	1	A	A
⑥ RF変調器 (RFU-89EKA)	10	A	A	2) 編集機 本体 (BYE-910)	1	A	A
⑦ 電池 充電器 (KD-120)	1	A	A	① インターフェースボード (BKE-904)	3	A	A
3 屋外取材実習用機材 ~ 音声 ~				② スイッチャーインターフェイス (BKE-915A)	1	A	A
1) UHFワイヤレスマイク装置 一式	2	A	A	③ ミキサーインターフェイス (BKE-916A)	1	A	A
① UHF送信機 (WRT-28L)	2	A	A	④ PAL 形 フレミングボード (BKE-902)	1	A	A
② UHF受信機 (WRR-28L)	2	A	A	⑤ 9ピン制御リレー (BKE-905)	3	A	A
③ キャリングケース (SC-38)	2	A	A	⑥ キックタイディスプレイ (CPD-121CR)	1	A	A
2) ボーカルマイク (F-730)	2	A	A	⑦ 9ピン制御ケーブル (RCC-50)	3	A	A
3) ミキシング・アンプ (SS-403)	1	A	A	3) キャラクタージェネレーター装置一式			
(付属品・電源・ケース 一式)				① マイクロコンピューター (SMC-70GP)	1	A	A
4) コンデンサーマイク (MKH416TU-3)	1	A	A	② スーパーインポーズ (SMI-7074P)	1	B	A
(付属品・電源・ケース 一式)				③ ビデオタイザー (SMI-7075P)	1	B	A
5) ヘッドホン (JVCIA-D600)	10	A	A	④ グラフィックエディター (SMW-P7072)	1	B	A
6) キャリングケース (7本トランク)	1	A	A	⑤ Q-MANAGER (SMW-P7076)	1	B	A
7) 電池 (006P) 10 個入り	2	B	A	⑥ ビデオタイトラー (SMW-P7070)	1	A	A
8) 電池 (LR6N)	40	B	A	⑦ クイックタイトラー (SMW-7078)	1	A	A
9) コンデンサーマイク (ECH-55S)	2	A	A	4) 音声ミキサー (NXP-290)	1	A	A
10) マイクケーブル (EC-10XLR2/L)	10	A	A	5) タイムコード 機外 機 (BVG-1600PS)	1	B	A
11) ワイヤレスインカム 装置一式				6) 機外 タイムコード 機外 機 (BVG-100PS)	1	B	A
① 親機 (MDS-310)	1	A	A	7) REVERBRATOR (MU-R201)	1	B	A
② 子機 (MXR-200)	3	A	A	8) BVG-100用 インターフェイス ケーブル (BK-101)	1	B	A
③ ヘッドセット (HA-20)	3	A	A	9) ケーブル類			
④ バッテリー (H-600AA)	12	A	A	① ビデオケーブル (UGC-5)	11	A	A
⑤ 同 充電器 (CH-220S)	3	B	A	② モニターケーブル (VHC-3P)	2	A	A
⑥ 同 ACアダプター	1	B	A	③ モニターケーブル (SMF-500)	2	A	A
⑦ キャリングケース	1	A	A	④ 音声コード (XLR3-11/-12)	8	A	A
				(2m×4本、5m×2本、10m×2本)			
				⑤ 音声コード (RK-5XLRM)	2	A	A
4 βCAM用 ビデオテープ				7 番組編集用機材			
1) 20分用 (H321E)	50	A	A	1) 編集機 (RM-450CE)	1	A	A
2) 60分用 (H321)	50	A	A	2) βCAM-SP VTR (収録) (BVW-70P)	1	A	A
				3) βCAM-SP VTR (再生) (BVW-60P)	1	A	A
				4) カラービデオモニター (PVM-1440QM)	4	A	A
				5) 同上 システムラック (RHM-450)QM)	1	A	A
				6) ビデオカセット レコーダー (EVO-720P)	2	B	A

技術協力 1990年度供与機材活用・管理状況 (2)

1992. 6.1 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
8 アニメーション番組制作用機材 ～ カメラ・ビデオ・レコーダ・システム ～				③ リソグラフ・マスター	5	B	A
1) 本体メモリーユニット	2	B	A	④ " " 赤色インク・ドラム	1	B	A
2) 付属品				⑤ " " 青色インク・ドラム	1	B	A
① 2/3吋モノクロ・カメラ	1	C	A	⑥ " " 緑色インク・ドラム	1	B	A
② 6倍ズームレンズ	1	C	A	⑦ " " 黒色インク	24	B	A
③ カメラ・スタンドライト	1	C	A	⑧ " " 赤色インク	5	B	A
④ 9吋モニター	1	C	A	⑨ " " 青色インク	5	B	A
⑤ キーボード	1	C	A	⑩ " " 緑色インク	5	B	A
⑥ フロッピードライブ・ユニット	1	C	A	2) パーソナル・コンピューター			
⑦ ハードコピー・ユニット	1	C	A	① 本体<コムパック・デスク・プロ> (386S/20M60)	2	A	A
⑧ タイミング・ユニット	1	C	A	② カラーモニター (14吋)	2	A	A
⑨ ミキシング・ユニット	1	C	A	③ 5吋フロッピー・ディスク (1.2 MB)	2	A	A
⑩ メモリーボード	1	C	A	④ 別売/別売 変換インターフェース	2	A	A
⑪ 高密度フロッピーディスクセット	20	C	A	⑤ MS-DOS (Ver. 4.01)	2	A	A
⑫ トランス (220V→100V)	1	C	A	⑥ WORD STAR (Ver. 6.0)	1	A	A
⑬ ロールペーパー	5	C	A	⑦ LOTUS 1-2-3 R3	1	A	A
9 デザイン用機材				⑧ GW-BASIC	1	A	A
1) 製図器具 (E-TYPE 24本組)	5	B	A	⑨ D BASE III プラス	1	A	A
2) 楕円コンパス	5	B	A	⑩ 5吋 2HD フロッピーディスク	200	B	A
3) ベースコン (MODEL:PC-102B型)	10	B	A	⑪ 3.5吋 2HD フロッピーディスク	200	B	A
4) ベースコン (MODEL:PCB-102B型)	10	B	A	3) 無停電装置 (BM1000-15FNA)	2	A	A
5) ベースコン・エア (500g)	10	B	A	4) トランス (1KVA, 220V → 100V)	2	A	A
6) ハンドピース (HP-PC-102B)	10	B	A	5) プリンター装置			
7) リニコン	3	B	A	① プリンター本体 (SL-230AI)	2	A	A
8) デザイン筆				② カット・フィーダー (SL-23009A)	2	A	A
① 11本組	10	B	A	③ プリンター・ケーブル (1525612)	2	B	A
② 5本組	10	B	A	④ プリンター・ケーブル (SL-23051)	30	B	A
③ 4本組	30	B	A	1 1 教室教材用具			
④ 3本組	30	B	A	1) 電子タイプライター装置			
9) 製図用ペン				① タイプライター本体 (AP-1000)074P)	5	A	A
① 0.5mm ラピッドグラフ (3本組)	5	B	A	② インク・リボン (RB-11)	10	A	A
② バリオ・スクリプト・タイプ	15	B	A	③ CORRECTABLE リボン (KCS-78) 6MMJ)	10	A	A
③ ステンシル・ガイド	5	B	A	2) 手動タイプライター装置			
10) ニューカリグラフィック・ペン				① タイプライター本体 (M-1800)	15	A	A
① 0.5mm イタリアリック・セット (3本組)	10	B	A	② インク・リボン (黒・赤)	60	A	A
② " " カリグラフィック・セット (3本組)	10	B	A	3) 電卓 (FX-992V)	30	B	A
③ " " ドローイング・セット (3本組)	10	B	A	1 2 共用事務用品			
11) ディスプレイ (陳列式収納)セット				1) 電子タイプライター装置			
① ロットリングラピッドグラフセット	5	B	A	① タイプライター本体 (EM-850FX)	1	A	A
② コピー・ポスター・ディスプレイ	5	B	A	② インターフェース (IF-504P)	1	A	A
③ コピー・付添カラーディスプレイ	5	B	A	③ RAM ボード	1	A	A
④ イラストレーションボード・ケース外	5	B	A	④ 付属ケーブル	1	A	A
⑤ ナール・デザインマーカー・セット	5	B	A	⑤ CORRECTABLE カーボン (U73651-010)	10	A	A
⑥ " " ビグマケース・セット	5	B	A	⑥ LIFT OF CORRECTION TAPE (542792)	5	A	A
⑦ " " 水性ツインマーカー・セット	5	B	A	2) T P (投射用原稿)作成装置			
⑧ " " カラーインク・セット	5	B	A	① 本体 (M4550) (220V用)	1	B	A
⑨ ベスト・パネルケース・セット	5	B	A	② 付属品			
⑩ マービー・カラーペン・セット	5	B	A	・スベア・ランプ	1	B	A
⑪ " " プラシマーカー・セット	5	B	A	・コピー・ベルト	1	C	A
⑫ サイン・シート (24巻)	5	B	A	・プリント・ローラー	1	C	A
10 教材作成用機材				③ T Pフィルム			
1) コピー・マシーン <リソグラフ>				・TYPE IR-1140 (100枚入り)	10	C	A
① 本体 (RC5600)	1	B	A	・ " IR-1343 (50枚入り)	5	C	A
② 専用台 (キヤノン製)	1	B	A	・ " IR-1344 " "	5	C	A
				・ " IR-1346 " "	5	C	A
				・ " IR-1347 " "	5	C	A
				・ " IR-1633 " "	5	C	A
				・ " IR-1634 " "	5	C	A

技術協力 1990年度供与機材活用・管理状況 (3)

1992. 6.1 現在

機材名	数量	活用	管理	機材名	数量	活用	管理
・TYPE IR-1636 (50枚入り)	5	C	A	15 保守用機材			
・ " IR-1637 { " }	5	C	A	1) ENGカメラ用 2/3吋 サチコン (H-8379B)	9	C	A
・ " IR-1511 { " }	5	C	A				
・ " IR-1514 { " }	5	C	A				
・ " IR-1516 { " }	5	C	A				
13 電源装置							
1) 可換型 誘動発電機 (DCA-85PK) (380V/70KVA)	1	C	A				
14 βCAM 用 ソフトウェア							
1) BIOLOGY-ZOOLOGY (BCT-60ML 1PC)	1		A				
2) BIOLOGY-BOTANY (BCT-30ML 1PC)	1		A				
3) PHYSICS-DYNAMICS (BCT-60ML 1PC)	1		A				
4) PHYSICS-WAVEMOTION (BCT-60ML 1PC)	1		A				
5) PHYSICS-LIGHT (BCT-60ML 1PC)	1		A				
6) PHYSICS-MAGNET (BCT-60ML 1PC)	1		A				
7) PHYSICS-ELECTRICITY 8-11 (1PC)	1		A				
8) PHYSICS-ELECTRICITY 12-13 (1PC)	1		A				
9) LOOK AND LEARN (BCT-90ML 3PCS)	1		A				
10) 1, 2, 3 MATHEMATICS (BCT-90ML 2PCS (BCT-60ML 1PC)	1		A				
11) PUPPET SHOW 1-5 (BCT-90ML 1PC)	1		A				
12) PUPPET SHOW 6-10 (BCT-90ML 1PC)	1		A				
13) PUPPET SHOW 14-16 (BCT-60ML 1PC)	1		A				
14) MARIONET SHOW KUROHIME (")	1		A				
15) ANIMATED PUPPET FILM 1-4 (BCT-90ML 1PC)	1		A				
16) ANIMATED PUPPET FILM 5-8 (")	1		A				
17) ANIMATED PUPPET FILM 13-18 (")	1		A				
18) ANIMATED PUPPET FILM 19-24 (")	1		A				
19) WORLD MUSIC ALBUM 1 (BCT-60ML 1)	1		A				
20) WORLD MUSIC ALBUM 2 (BCT-60ML 1)	1		A				
21) NATURAL HISTORY FIS (BCT-30ML 1)	1		A				
22) NATURE IN ASIA (1) (BCT-30ML 1)	1		A				
23) NATURE IN ASIA (3) (BCT-30ML 1)	1		A				
24) NATURE IN ASIA (4) (BCT-60ML 1)	1		A				
25) ZEN TEMPLE (BCT-60ML 1PC)	1		A				
26) SWING HIGH LANTERNS (BCT-30ML 1)	1		A				
27) BIRTH OF SILK (BCT-60ML 1PC)	1		A				
28) RICE GROWING IN JAPAN (BCT-60ML)	1		A				
29) JAPANESE WEDDING (BCT-30ML 1PC)	1		A				
30) THE KIHONO (BCT-30ML 1PC)	1		A				

(注) 「βCAM ソフトウェア」は、散逸を防ぐため、専門家室に保管中。必要時に貸出している。

表B 供与機材故障・修理状況 (1)

1992. 6.1 現在

機 器 名 (メーカー・モデル) No.	故 障 年 月	故 障 状 況	故 障 原 因	措 置	備 考
TVスタジオ調整室 ビデオスイチャ- NEC TAKS-2000	1985. 3	・映像切替不良 ・MK2パネル点灯せず ・MASK可変範囲狭し	・MK1-A IC18の不良 ・LED LAMP不良 ・MK-KEY CONT. UNIT不良	・予備品と取り替え ・予備品と取り替え ・再調整	
TVディレクトにエフ1 スグイ ビデオスイチャ- NEC TAKS-2000	1985. 3	・映像切り替え不良	・MKI-SUPのIC18, IC34不良	・予備品と取り替え	
カラーモニター (PGM用) 3Q TPMC-511A	1985. 3	・色がつかない	・VIDEO & SYNC PROCESS不良	・再調整	
カラーモニター (VE用) 3Q TPMC-511A	1985. 3	・PURITY不良	・DEGAUS回路設計不良	・改修	
ズームレンズ キャン . PV12×14B	1985. 2	・Focus とれず	・機構不良	・日本で修理 その間代替品使 用	
カラーTVカメラ (No. 1) NEC NC-37	1985. 3	・View Finder H-Holderはずれ	・初期不良	・H-Holder 再調整	
カラーTVカメラ (No. 2) NEC NC-37	1987. 9	・赤チャンネル抜け	・前置増幅器コネクタの接触不良	・接触部分を磨いて回復	
カラーTVカメラ (No. 3) NEC NC-37	1985. 3	・CC-Filter, Remote不良	・LED位置不良	・再調整	
カラーTVカメラ (No. 1,2,3) NEC NC-37	1987. 10	・緑チャンネルレベル大	・前置増幅器の調整不良	・再調整	
カラーTVカメラ (No. 1,2,3) NEC NC-37	1985. 3 1991. 6.	・Auto White 動作 せず ・レンジ調整範囲外 ・RBG信号トラッキング不良	・初期不良 ・特性の経年変化及び日常 保守の不足	・CCUの再調整 ・TVRI (ヨコガワ)へ出張中のNEC 技術者に依頼し、再調整	カメラの不調はNECのサポート で対応したが、TVRI (ヨ コガワ)への出張を要し、且 時・場所・コストに配慮した。
キャラクタージェネレーター FOR A MU-300	1985. 3	・Magnetic Card Memory不動作	・IC2A, IC2B, IC2Cの不良	・予備ICと取り替え	
FSS 池上 TGK203	1985. 3	・CH-1のR- Gainが時々変化	・コンデンサー C-3不良	・予備品と取り替え	
カラーTVカメラ NEC MNC-100	1986. 12	・映像にハルス発生	・SC基板不良	・予備基板手配 (87/4月完了)	
VTR (1号機) SONY BVH-2000P	1987. 8	・再生カラーロック不良	・ICQ7不良	・予備ICと取り替え	
VTR (2号機) SONY BVH-2000P	1987. 12	・映像にノイズ発生	・Main Clockの IC8不良	・予備ICと取り替え	

供与機材故障 - 修理状況 (2)

1992. 6. 1. 現在

機名 (メーカー・モデル) No.	故障年月	故障状況	故障原因	措置	備考
VTR SONY BVU-800P	1985. 11	・テープの巻き取り不良	・不明	・機構部を分解、清掃して回復	
VTR SONY BVW-40P	1986. 2	・特定の色が出ない	・不明	・メーカー手配	・検収で不良と判明 メーカーでの工場 検査が不十分と考 えられる
	1986. 4	・同上	・不明	・再度検収で不良、SONY 代理店に返送	
	1988. 2	・ほぼ上記と同じ	・内蔵TBC基板に疑いあり	・再度代理店に返送、修理済	
テープレコーダ DENON 3301RGE	1987. 8	・テープ巻き取り不能	・SERVO AMP の調整 ずれ	・再調整	
波形モニター テクトロニクス 1481	1985. 3	・LINE SELECTOR がOFF 時及び 15 LINE 時に BEAM 流れず	・R6880-VR調整不良	・CRT GRID BIAS 用VRを再調整	
	1985. 10	・高圧低下	・高圧抵抗断	・抵抗取り替え	
TBC (No. 1) SONY BWT-800PS	1985. 3	・CHROMA つかず	・Xtal VCO 不良	・予備品手配 ('85/10月完了)	
TBC (No. 3) SONY BWT-800PS	1987. 3	・映像断	・CLOCK GEN. 不良	・予備基板と取り替え	
標準時計 SEIKO QC88B	1985. 3	・JJY校正不能	・DELAY TIME REGULATION 基板 不良	・基板を清掃して回復	
エンベロープオシロスコープ 日通機 2320	1985. 3	・高圧印加せず	・ダイオードD5, D7, D9 抵抗R104 不良	・予備品と取り替え	
試験信号発生器 SIBASOKU TG-5E	1985. 3	・スイッチ破損	・不明	・新品と交換	
同期パルス発生器 LINK 251D	1985. 3	・動作せず	・ダイオードS-1 不良	・予備品手配 ('85/10月完了)	
1kW中波放送機 TOSHIBA RM-41GS	1986. 2	・600W PA 発火	・終致IC 不良	・メーカー派遣により現地修理	
マイクロ送信機 (FPU) NEC TVL-113G	1989. 2	・映像反転	・変調器 不良	・メーカーへ返送、修理済 ('89/10月完了)	
マイクロ受信機 (FPU) NEC TVL-113G	1989. 2	・出力信号なし	・ミキサダイオード不良	・メーカーへ返送、修理済 ('89/10月完了)	
TV中継車 (1号車) 用発電機 ONAN	1989. 3	・発電機 起動せず	・イグニッションコイル 1次巻線 断線	・現地で同一品を調達し取り替 え	

供与機材故障・修理状況 (3)

1992. 6. 1. 現在

機名 (メーカー・モデル) No.	故障年月	故障状況	故障原因	措置	備考
カメラベスタル (No. 1)	1989. 3.	・内部ワイヤー切断	・経年劣化	・上下動を固定して使用	
ベータカム・カメラ SONY BVW-3P	1989. 4. 1990. 6.	・録画中テープ走行不良 ・同上	・不明 ・テイク・アッパ・リールの不良 ・ブレキ・シレノイドの不良	・メーカー代理店にて修理済 ・故障原因特定のため、メーカー代理店に修理依頼	・前回の修理では完治しておらなかったもの
VTR SONY BVU-800P	1989. 11.	・電源部出力断 ・内部ケープル焼損	・SWレギュレーター不良 ・チャエック時の回路短絡	・メーカー代理店にて修理済	
カラーTVカメラ NEC NC-37	1989. 11.	・カメラヘッド電源入らず	・レギュレーター基板内ICの不良	・予備品と取り替え	
16シットVフィルム映写機① 北辰情報	1991. 6.	・主電動機の駆動力が伝達されず、フィルムが走行しない	・チフロン・ローラーの経年劣化 (ゴム質がポロボロ)	・メーカーから同ローラーを取寄せ、①・②号機共に交換	・①号機には"1"が欠けて残ったまま
100W VHFテレビ放送機 (T8V-1220SH) 用 入出力監視装置	1991. 8.	・映像分配増幅ユニットの色信号レベルの直線性不良	・詳細不明	・未了	・インストラクターで修理
安定化直流電源装置 GP 050-2/1	1990. 9.	・出力断	・VR-1 (25 KΩ/2 W) 不良	・取り替え	
安定化直流電源装置 GP 050-2/2	1990. 12.	・出力断	・電解コンデンサー不良 (3000 μF/100 V)	・取り替え	
ステレオ・カセット・デッキ ティアック	1991. 3.	・作動せず	・リール、ベルト不良	・取り替え、調整	
モノラル・テープレコーダー DENON	1991. 5.	・早送り速度速すぎる	・IC TL081 不良	・取り替え、巻取りテンション調整	
ACアダプター ヒクター	1991. 6.	・直流出力断	・トランス故障	・取り替え	
バッテリー・チャージャー SONY BC-1 WA	1991. 7.	・直流出力断	・IC STX 7408 R1 10 Ω/3 W 故障	・取り替え	
ステレオ・カセット・デッキ A I W A	1991. 7.	・巻き戻し不良	・押しボタン・スイッチの接触不良	・クリーニング実施	
テレビ受像機 (TC AL2100)	1990. 12.	・垂直偏向断	・抵抗ヒューズ (0.82 Ω, 1/4 W) 断	・取り替え	
テレビ受像機 (TC AL2100)	1991. 1.	・映像断	・IC 1105 AN 5352 故障	・取り替え、調整	

1992. 6. 1. 現在

台与機材 故障 - 修理状況 (4)

機 器 名 (メーカー・モデル) No.	故 障 年 月	故 障 状 況	故 障 原 因	措 置	備 考
カメラ用 ACアダプター	1991. 7.	ON/OFF 動作不確実	・スイッチ部	・クリーニング実施	
カラーモニター (PWM-2010QM) SONY	1991. 5.	故 障	・電源部 電解コンデンサー 47μF/400V 不良	・取り替え	
カラー受像/モニター SONY (CVM-1370 QE)	1991. 11.	故 障	・電源部 トランジスタ (C-1413)/ダイオード不良	・取り替え、調整	
BVU-800 (NTSC) VTR SONY	1991. 10.	重 故 障	・不 明	・代理店 (JKT) に修理依頼	日本からの故障品 TVRI (JKT) の VTR パート一式に買い替える事を別、事前にコンタクトを取り、納品した。
ファンクション・ジェネレーター (3波形発生器)	1992. 2.	矩形波信号出力断	・半導体の故障?	・地元にて部品購入し、教室の手で修理する予定	
コンティニュー・スタジオ ビデオ・スイッチャー (TAKS-2000)	1992. 3.	映像切替え不良	・フェーダー・ボリュームの 接触不良	・フェーダー・ボリューム清掃	
ビデオ・タイプライター (FOR A, VTW-300)	1992. 3.	メモリー・ユニット動作せず	・製品の、バージョンの相違によるため	・メーカーより C.P.U 基板の ROM を取り寄せ、交換	
ビデオ・タイプライター (FOR A, VTN-300)	1992. 3.	輪郭信号出力断	・初期不良	・メーカーより代替品を取寄せ交換	無償保証期間中の為 輸送費を含め、無料
TV・制作スタジオ ビデオ・スイッチャー (TAKS-2000)	1992. 5.	PAL パースト信号の片方断 (PCM 列のみ断)	・原因未詳	・調査中	
ラジオ・制作スタジオ 音声ミキサー (16SXM-42B)	1992. 5.	ノイズ混入	・フェーダー・ユニット部 コネクタの接触不良	・コネクタ・ソケット、プラグ清掃	
ラジオ・S.T.L 受信機 <164MHz>	1992. 4.	受信不良	・原因未詳	・調査中	

表C 年度毎保守経費支出の推移 (単位:ルピア)

項 目	1986/1987	1987/1988	1988/1989	1989/1990	1990/1991	1991/1992	1992/1993
1. 建物維持 (ペイント、寮、庭など)	34,100,000	27,900,000	34,000,000	44,600,000	45,100,000	57,000,000	94,750,000
2. 車輛維持 (部品、オイル、消耗品)	3,000,000	9,000,000	12,000,000	15,000,000	15,000,000	17,500,000	17,500,000
3. その他 (エアコン、研修機材、実習機材)	25,500,000	21,750,000	31,900,000	51,400,000	51,400,000	61,400,000	61,400,000
合 計	62,600,000	58,650,000	77,900,000	111,000,000	113,500,000	135,900,000	17,365,000

4. プロジェクトの実施体制

4-1 組織・要員数（「概要説明」 p 27参照）

MMTCは1985年に開所したが、その翌86年には所長以下総務・教務・技術3部、および専任教官合計74名（内正職員53名）の職員が配置される体制となった。

職員数はその後毎年増え、6年後の1992年には正職員だけでも149名配置されるという飛躍的発展であった。

4-2 建物・施設（「概要説明」 p 8～p 10参照）

図書館、食堂をはじめ、グラウンド、さらには研修生および教官の寮も完備しており研修のための環境は整備されている。

また、DⅡ、DⅢコース実施のための追加無償資金協力による研修施設は本年3月に完成し、4月よりDⅡ、DⅢコース実施に利用されている。

4-3 予算（「概要説明」 p 28参照）

毎年持続的増加予算が確保され、MMTCに対しては特段の配慮がなされてきている。調査団より、本プロジェクト終了に際し、今後の更なる予算確保を情報省ならびに国家開発計画省に申し入れた。

4-4 合同委員会（「合同委員会報告書」参照）

調査団より本プロジェクトの進捗状況と本プロジェクトに対する評価について説明した。インドネシア側関係者より、本プロジェクト終了後も新たな技術協力の要望（第三国研修、新設を計画しているDⅣコースに対する新規プロジェクト）があったが、本件については日本に持ち帰り、関係機関に伝え、検討することとした。

なお、教官の質・量の充実および、機材保守管理体制についてインドネシア側の努力を評価し、プロジェクト終了後も引き続き現状の体制を継続・発展させるよう先方機関に申し入れた。

5. ミニッツ署名

6月30日に、日本・インドネシア双方によりミニッツへの署名が行われた。その内容は次頁のとおりである。


THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND THE MINISTRY OF INFORMATION OF THE REPUBLIC OF INDONESIA
ON THE RADIO AND TELEVISION TRAINING CENTRE PROJECT

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (JICA) and headed by Mr. HASAYASU HUGISHIMA (Deputy Director, International Cooperation Division, Communications Policy Bureau, Ministry of Posts and Telecommunications) visited the Republic of Indonesia from June 22 to June 30, 1992.

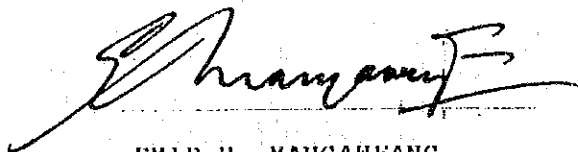
During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned aimed at evaluating the Radio and Television Training Centre Project (hereinafter referred to as "the Project") in the framework of the establishment of the Multi Media Training Centre (MMTC).

As a result of the discussions, the Team found out that the Project had been implemented successfully and both parties agreed that the objective of the Project will be accomplished by the end of the present technical cooperation period, October 20, 1992, and the document attached hereto was drawn up.

Jakarta, June 30, 1992



HASAYASU HUGISHIMA
Leader, Evaluation Team
Japan International
Cooperation Agency
JAPAN



EHIR H. HANGAWKANG
Secretary General
Ministry of Information
THE REPUBLIC OF INDONESIA

THE ATTACHED DOCUMENT

I. EVALUATION OF THE PROJECT AFTER JULY 1990

When the term of the technical cooperation of the Project was re extended for two years in accordance with the Minutes of Meeting signed on July 13, 1990, there was one objective as follows :

To assist and give further advice to the Indonesian counterpart personnel for preparation of Diploma II and Diploma III such as improving the curricula, producing teaching materials and technology transfer.

With the end of the re-extension term, both parties recognized that the objective of the Project would be completely achieved by the end of the present technical cooperation period, October 20, 1992.

1. Course implementation

(1) Diploma I (D I)

All five courses have been implemented since the Fiscal Year 1989/90.

(2) Diploma II (D II)

Five courses of Diploma II (D II) have been implemented as scheduled since the Fiscal Year 1992/93.

(3) Diploma III (D III)

Three courses of Diploma III (D III) have been implemented as scheduled since the Fiscal Year 1992/93. *E. B.*

(1) The rest of the course of Diploma II (D II) and Diploma III (D III) will be implemented by the Government of Indonesia subject to budget allocation.

2. Technical cooperation for preparation of D II and D III

(1) Improving the curricula

The curricula for D II and D III were prepared by both parties in September 1990. Improvement of these is expected to be completed by the end of the present technical cooperation period.

(2) Producing teaching materials

Fundamental teaching materials for D II and D III are expected to be completed by the end of the present technical cooperation period.

(3) Technology Transfer

Technology Transfer necessary for D II and D III are expected to be completed by the end of the present technical cooperation period.

(4) Conclusion

- a. The Team found out that the Project had been implemented successfully so far.
- b. With the end of the re-extension term, both parties will accomplish the duties as described in the Record of Discussions signed on October 21, 1983, and the series of Minutes of Meeting agreed so far.
- c. The objective of the Project will be achieved by the end of the present technical cooperation period.

- d. Based on the above recognition, both parties agreed to conclude the Project on October 20, 1992, in accordance with the Minutes of Meeting signed on July 13, 1990.

II. SCHEDULE FOR POST-EVALUATION

1. Implementation Schedule of the Project until October 20, 1992

Both parties will continue the present activities and take necessary measures to complete the Project.

2. Measures after Conclusion of the Project

(1) Two (2) Japanese experts in the fields of program production and production engineering, respectively, will remain as individual experts after the present technical cooperation period for further development of MITC.

(2) JICA will provide the machinery and equipment as planned for the Fiscal Year 1992/93.

III. OTHERS

1. The Indonesian side strongly requested that further technical cooperation with Japan be developed for the promotion of MITC.

2. The Team responded to convey this matter to the authorities concerned in Japan for further consideration. E

(3) 今後の課題

放送訓練センターの目的が実務・実技訓練にあることは将来も変わらないと思われる。よってその訓練内容の質の向上を図るためには、国営テレビや国営ラジオとの人事交流を推進し、インストラクターが現場（放送局）のニーズに即した訓練が実施できるような体制を整備する必要がある。しかし、人事交流を推進する際の留意点は、既存のインストラクターが有する訓練のノウハウをいかにセンターに蓄積し、後任者がそれを活用し、高めていくことができるかである。（さらに言えば、センターのインストラクターが現場に復帰すればセンターで培った知識・技術が普及されることは明らかである。しかし、センターでの教育や訓練には、教授法、訓練技法、コミュニケーション技法に関する知識や技術が必要になる。これらの訓練技術のセンターでの蓄積は今後の課題である。）

次にインドネシア側から公式、非公式に表明があったセンターの今後の構想である。インドネシア側の説明によると、現在のラジオ・テレビ放送訓練部分はオーディオ・ビジュアル・メディア学部と位置付けられている。そして、近い将来、水平方向と垂直方向への発展を目指すという。そして、垂直方向としては、放送訓練部分にディプロマⅣ（DⅣ）の増設を目論んでおり、そこに①番組制作 ②スタジオ技術 ③台本作成という3つのコースを置いて、1994年から発足させたいという。

他方、水平方向としては、①新聞・出版メディア ②ビデオ・映画メディア ③伝統的メディア（影絵芝居等）についての訓練を行うべきことを構想している。水平方向はともかくとしても、DⅣについては協力要請があった場合にどう対応するのか、一応の検討は関係者間でしておいた方が良いでしょう。

（参考資料）

- ① 「概要説明」 p7（MMTC組織図）
- ② “JOINT COMMITTEE MEETING OF THE MMTC PROJECT / YOGYAKARTA, JUNE 1992” p2

6. 今後の協力計画

6-1 プロジェクト終了までの実施計画

現状のプロジェクト協力実施計画を継続することとする。

6-2 プロジェクト終了後の方策と今後の課題

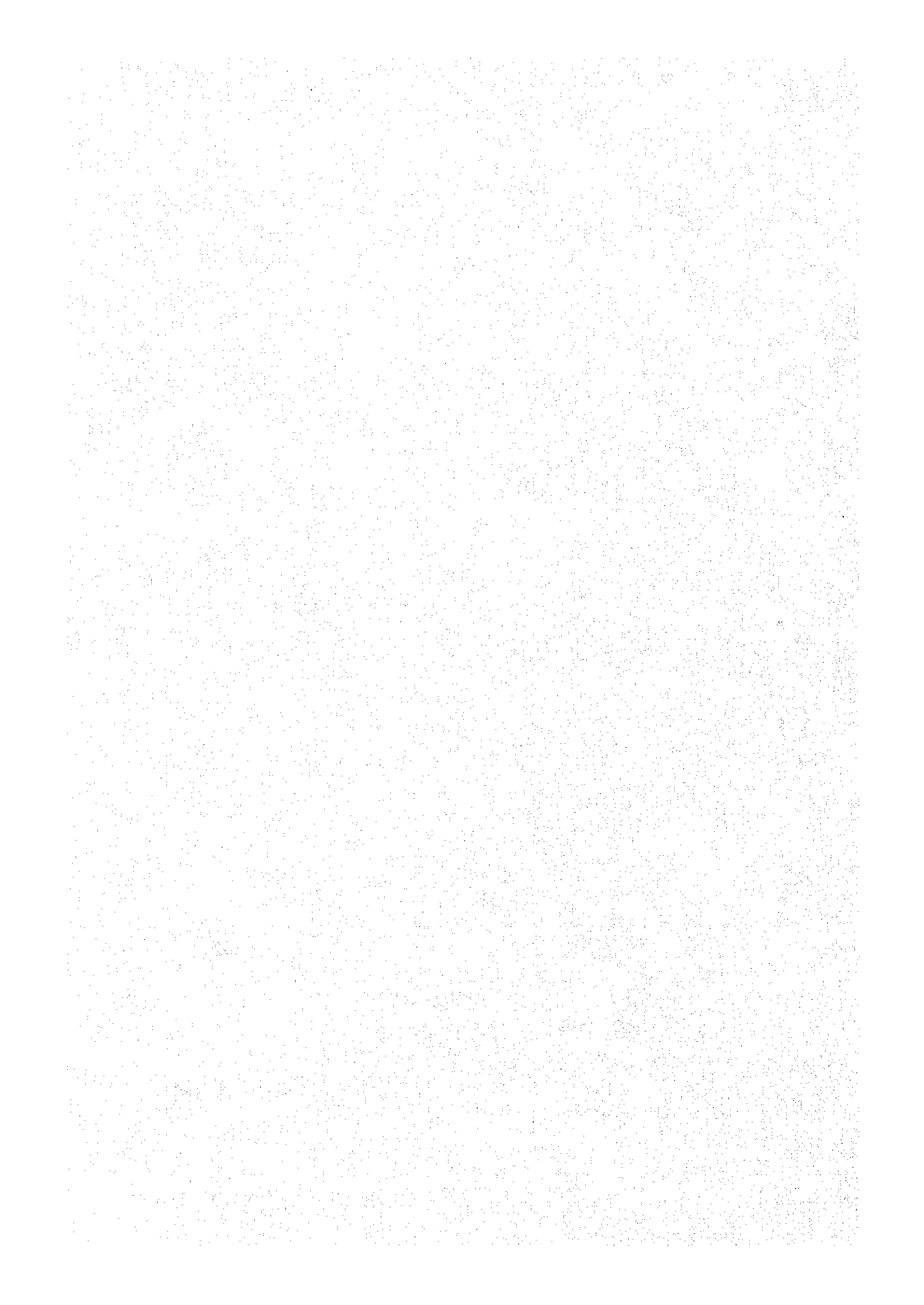
(1) 個別専門家派遣

現プロ技専門家（番組制作）並びに同（制作技術）の2名をプロジェクト終了後も個別専門家に身分をきりかえて最低限半年間は、引き続き派遣することとする。

(2) 平成4年度計画分の機材供与実施

機材供与がプロジェクト終了後になるが必ず実施することとする。

資 料



MMTC
CURRICULUM

1992 / 1993

DIPLOMA I · II · III

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE

CURRICULUM PROGRAMME STRUCTURE

DIPLOMA I: PROGRAM LINES PRODUCTION (PROPRODSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			I	II	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 AGM 12	Religion	2	-	Religion:
2.	00 PUG 12	P a n c a s i l a	2	-	- Moslem
3.	00 BIA 12	Indonesian I	2	-	- Catholic
4.	00 PBA 12	Introduction to Lines Program Material Compilation	-	2	- Protes- tan
5.	00 BNA 12	English I	2	-	- Hindhu
6.	00 BNB 12	English II	-	2	
			8	4	Pancasila: - Pancasi- la
II.		BASIC SKILL SUBJECT			- UUD 1945 - GBHN
7.	12 KMA 12	Communications I	-	2	
8.	12 PMP 13	Introduction to Production Management	3	-	
9.	12 PAS 12	Introduction to Lines Program	2	-	
10.	12 PPS 12	Introduction to Lines and Program	-	2	
11.	12 FAS 12	Lines Program Formatology	2	-	
			7	4	
III.		SKILL SUBJECT			
12.	12 PAA 13	Program Production I	3	-	
13.	12 PAB 13	Program Production II	-	3	
14.	12 EAA 14	Program Production's Aes- thetics and Artistics I	4	-	
15.	12 EAB 13	Program Production's Aes- thetics and Artistics II	-	3	
16.	12 PNA 12	Script Writing I	2	-	
17.	12 PRA 12	Practice on Production I	2	-	
18.	12 PRB 16	Practice on Production II	-	6	
			11	12	
IV.	GUIDANCE				
19.	12 KKL 12	Field Lecture Report Writing	-	2	
			26	22	
20.	00 OR 00	Sports and Health			
21.	00 SO 00	Department of Information Republic of Indonesia's Working System and Organiza- tion Structure			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA I: PROGRAMME COMPILATION PLANNING (RENSUMA)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			I	II	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 AGM 12	Religion	2	-	Religion:
2.	00 PUG 12	P a n c a s i l a	2	-	- Moslem
3.	00 BIA 12	Indonesian I	2	-	- Catholic
4.	00 BNA 12	English I	2	-	- Protes-
5.	00 BYS 12	Basic Cultural	-	2	tan
			8	2	- Hindhu
II.		BASIC SKILL SUBJECT			Pancasila:
6.	11 FAR 12	Program Formatology	-	2	la
7.	11 PPR 12	Introduction to Program Production	2	-	- UUD 1945
8.	11 PAS 13	Introduction to Lines Program	3	-	- GBHN
9.	11 KOM 12	Communications	2	-	
10.	11 PBS 13	Lines Program Material Compilation	3	-	
			10	2	
III.		SKILL SUBJECT			
11.	11 PKH 13	Audience Research	-	3	
12.	11 HHI 12	Copy Right Law	-	2	
13.	11 ADS 13	Lines Administration	3	-	
14.	11 MPS 13	Communications	2	-	
15.	11 PRA 12	Practice I	2	-	
16.	11 PRB 16	Practice II	-	6	
			8	11	
IV.	GUIDANCE				
17.	11 KKL 12	Field Lecture Report Writing	-	2	
			26	17	
18.	00 OR 00	Sports and Health			
19.	00 SO 00	Department of Information Republic of Indonesia's Working System and Organiza- tion Structure			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAMME STRUCTURE

DIPLOMA I: NEWS AND CURRENT AFFAIRS REPORTING (REBRISAT)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			I	II	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 AGM 12	Religion	2	-	Religion:
2.	00 PUG 12	Pancasila	2	-	- Moslem
3.	00 BIA 12	Indonesian I	2	-	- Catholic
4.	00 BNA 12	English I	2	-	- Protes-
5.	00 BNB 12	English II	-	2	tan
			8	2	- Hindhu
II.		BASIC SKILL SUBJECT			Pancasila:
6.	13 PMS 12	Introduction to Lines	-	2	- Panca-
		Material Compilation Method			silu
7.	13 FRT 12	News Formatology	2	-	- UUD 1945
8.	13 PMA 12	Introduction to News Pro-	2	-	- GBHN
		duction Management I			
9.	13 PDT 12	Introduction to News Pro-	2	-	
		duction Management			
10.	13 RCT 12	News and Program Planning	-	2	
11.	13 KMA 12	Communications	2	-	
			8	4	
III.		SKILL SUBJECT			
12.	13 KEJ 12	Journalism Ethic Codes	2	-	
13.	13 SBA 12	News Script Writing I	2	-	
14.	13 SBB 13	News Script Writing II	-	3	
15.	13 RWN 13	Reportation and Interview	-	3	
16.	13 JRA 12	R - TV Journalism I	2	-	
17.	13 EAA 12	Program Production's Aesthe-	2	-	
		tics and Artistics			
18.	13 PRA 12	Practice I	2	-	
19.	13 PRB 16	Practice II	-	6	
			10	12	
IV.	GUIDANCE				
20.	13 KKL 12	Field Lecture Report Writing	-	2	
			26	20	
21.	00 OR 00	Sports and Health			
22.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation			
		Experience			
23.	00 SO 00	Department of Information			
		Republic of Indonesia's			
		Working System and Organiza-			
		tion Structure			

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA I: STUDIO AND MASTER CONTROL TECHNIQUE OPERATION (TOPDALSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			I	II	
I. GENERAL SUBJECT					
1.	00 AGM 12	Religion	2	-	Religion:
2.	00 PUG 12	Pancasila	2	-	- Moslem
3.	00 BIA 12	Indonesian	2	-	- Catholic
4.	00 BNA 12	English I	2	-	- Protes-
5.	00 BNB 12	English II	-	2	tan
			8	2	- Hindhu
II. BASIC SKILL SUBJECT					
6.	14 MAT 12	Mathematics	2	-	Pancasila:
7.	14 TLS 12	Technique on Electricity	2	-	- Panca-
8.	14 ELA 12	Electronics I	-	2	sila
9.	14 DGT 12	Digital	-	2	- UUD 1945
10.	14 OPR 12	Optic and Colorimetry	2	-	- GBHN
11.	14 ATA 12	Aspect on Program Production Technique I	-	2	
			6	6	
III. SKILL SUBJECT					
12.	14 TAA 12	Technique on Audio I	2	-	
13.	14 TVA 12	Technique on Video I	2	-	
14.	14 TCA 12	Lighting System I	2	-	
15.	14 TSA 12	Sound System I	-	2	
16.	14 KLA 12	Studio Equipment Technique I	2	-	
17.	14 TUP 12	Tuning and Measuring Technique	-	2	
18.	14 PRA 12	Practice I (Equipment)	2	-	
19.	14 PRB 12	Practice II (Electricity, Electronics, Digital)	-	2	
20.	14 PRC 14	Practice III (Program Pro- duction)	-	4	
IV. GUIDANCE					
21.	14 KKL 12	Field Lecture Report Writing	-	2	
			24	20	
22.	00 OR 00	Sports and Health			
23.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			
24.	00 SO 00	Department of Information Republic of Indonesia's Working System and Organiza- tion Structure			

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA I: TRANSMISSION OPERATION (POPTRANSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			I	II	
I. GENERAL SUBJECT					
1.	00 AGM 12	Religion	2	-	Religion:
2.	00 PUG 12	P a n c a s i l a	2	-	- Moslem
3.	00 BIA 12	Indonesian	2	-	- Catholic
4.	00 BNA 12	English I	2	-	- Protes-
5.	00 BNB 12	English II	-	2	tan
			8	2	- Hindhu
II. BASIC SKILL SUBJECT					
6.	15 MAA 12	Mathematics I	2	-	Pancasila:
7.	15 TLA 12	Technique on Electricity I	2	-	- Pancasi-
8.	15 ELA 12	Electronics I	-	2	la
9.	15 TGA 12	Digital I	-	2	- UUD 1945
			4	4	- GBHN
III. SKILL SUBJECT					
10.	15 TAA 12	Technique on Audio I	2	-	
11.	15 TVA 12	Technique on Video I	2	-	
12.	15 TRA 12	Technique on Radio I	2	-	
13.	15 PGA 13	Wave Propagation I	-	3	
14.	15 TTA 12	Technique on Transmission I	2	-	
15.	15 TPA 13	Technique on Transmitter I	-	3	
16.	15 TUA 12	Technique on Tuning and Measuring	2	-	
17.	15 PRA 12	Practice I (Equipment)	2	2	
18.	15 PRB 12	Practice II (Electricity, Electronics, Digit)	-	2	
19.	15 PRC 12	Practice III (Measuring and Tuning)	-	2	
			12	12	
IV. GUIDANCE					
20.	15 KKL 12	Field Lecture Report Writing	-	2	
			24	22	
21.	00 OR 00	Sports and Health			
22.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			
23.	00 SO 00	Department of Information Republic of Indonesia's Working System and Organiza- tion Structure			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA II: PROGRAM PACKAGE PRODUCTION (PROPAKSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			III	IV	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 KWR 22	Kewiraan	-	2	
2.	00 BIB 22	Indonesian II	-	2	
3.	00 BNC 22	English III	2	-	
4.	00 BND 22	English IV		2	
			2	6	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
5.	12 KMB 22	Communications II	-	2	
6.	12 SDL 22	Listening and Watching Art	2	-	
7.	12 PHS 22	Lines Program Material Com- pilation	2	-	
			4	2	
III.		SKILL SUBJECT			
8.	12 MJP 23	Program Production Management	3		
9.	12 EAC 23	Program Production's Aesthe- tics and Artistics III	-	3	
10.	12 DRT 22	Dramaturgy	2	-	
11.	12 PYA 22	RTF Directing I	-	2	
12.	12 PAC 23	Program Production III	-	3	
13.	12 PNB 22	Script Writing II	2	-	
14.	12 PRC 26	Practice III	6	-	
15.	12 PRD 24	Practice IV	-	4	
			13	12	
IV.		GUIDANCE			
16.	13 MLK 22	Field Report Writing	-	2	
			19	22	
17.	00 OR 00	Sports and Health			

CURRICULUM PROGRAMME STRUCTURE

DIPLOMA II: SCRIPT / STORY WRITINGS (PENASTA)

NO.	CODE	S U B J E C T	SEMESTER		ITEMS
			III	IV	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 KWR 22	Kewiraan	-	2	
2.	00 BIB 22	Indonesian II	2	-	
3.	00 BNC 22	English III	2	-	
4.	00 BND 22	English IV	-	2	
5.	00 PKH 22	Audience Research	2	-	
			6	4	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
6.	13 FIL 22	Philosophy	2	-	
7.	13 KOS 22	Social Communications	-	2	
8.	13 EAC 23	Lines Program Production's Aesthetics and Artistics	-	3	
9.	13 KST 22	Literature	-	2	
			2	7	
III.		SKILL SUBJECT			
10.	13 PHS 22	Lines Program Material Compilation	-	2	
11.	13 MPS 22	Lines Program Management	-	2	
12.	13 PNB 23	Script Writing II	3	-	
13.	13 PNR 22	Story Script Writing	-	2	
14.	13 PAC 22	Program Production III	2	-	
15.	13 PRC 26	Practice III	6	-	
16.	13 PRD 24	Practice IV	-	4	
			11	10	
IV.		GUIDANCE			
17.	13 MLK 22	Work Report Paper	-	2	
			19	23	
18.	00 OR 00	Sports and Health			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAMME STRUCTURE

DIPLOMA II: BROADCAST JOURNALISM (JURNALSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			III	IV	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 KWR 22	Kewiraan	-	2	
2.	00 BIB 22	Indonesian II	2	-	
3.	00 BNC 22	English III	2	-	
4.	00 BND 22	English IV	-	2	
			4	4	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
5.	15 PMB 22	News Production Management II	2	-	
6.	15 SOS 22	Sociology	-	2	
7.	15 PKM 22	Communications Psychology	-	2	
8.	15 KMP 22	Development Communications	2	-	
9.	15 HUR 22	Human Relations	2	-	
			6	4	
III.		SKILL SUBJECT			
10.	15 JRB 23	R - TV Journalism	-	3	
11.	15 BPR 23	Reportation and Presentation Development Technique	-	3	
12.	15 LPT 22	Current Affairs and Script Writings	2	-	
13.	15 SBT 22	News Editing	-	2	
14.	15 PHA 22	Daily News Program Production I	2	-	
15.	15 PHB 22	Daily News Program Production II	-	2	
16.	15 PRC 24	Practice III	6	-	
17.	15 PRD 26	Practice IV	-	4	
			8	16	
IV.		GUIDANCE			
18.	15 MLK 22	Work Report Paper	-	2	
			20	24	
19.	00 OR 00	Sports and Health			
20.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA II: STUDIO PRODUCTION TECHNIQUE (TEKSTOSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			III	IV	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 KWR 22	Kewiraan	-	2	
2.	00 BNC 22	English III	2	-	
3.	00 BND 22	English IV	-	2	
			2	4	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
4.	16 ELB 22	Electronics II	-	2	
5.	16 ATB 22	Aspect on Program Production Technique II	-	2	
6.	16 SMA 22	Musics I	2	-	
7.	16 MJA 22	Technique Management I	2	-	
			4	4	
III.		SKILL SUBJECT			
8.	16 TCB 22	Lighting System II	2	-	
9.	16 TSB 23	Sound System II	3	-	
10.	16 TFA 22	Synthesizing and Editing Technique I	2	-	
11.	16 TFB 23	Synthesizing and Editing Technique II	-	3	
12.	16 KLB 22	Studio Equipment Technique II	-	2	
13.	16 RPA 22	Program Production Equipment Set Planning I	-	2	
14.	16 PRD 22	Practice IV (Equipment)	2	-	
15.	16 PRE 22	Practice V (Program Pro- duction I)	4	-	
16.	16 PRF 22	Practice VI (Program Pro- duction II)	-	4	
			13	11	
IV.		GUIDANCE			
17.	16 MLK 22	Work Report Paper	-	2	
			19	21	
18.	00 OR 00	Sports and Health			
19.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA II: TRANSMISSION TECHNIQUE (TEKTRANSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			III	IV	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 KWR 22	Kewiraan	-	2	
2.	00 BNC 22	English III	2	-	
3.	00 BND 22	English IV	-	2	
			2	4	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
4.	18 MAB 22	Mathematics II	2	-	
5.	18 TLB 22	Technique on Electricity II	3	-	
6.	18 TLC 22	Technique on Electricity III	-	2	
7.	18 ELB 22	Electronics II	-	2	
8.	18 TGB 22	Digital II	-	2	
9.	18 MJA 22	Technique Management I	-	2	
			5	8	
III.		SKILL SUBJECT			
10.	18 TKN 22	Antenna Technique	-	2	
11.	18 TTB 22	Transmission Technique II	2	-	
12.	18 TPB 23	Transmitter Technique II	-	3	
13.	18 TUB 22	Tuning and Measuring Technique II	2	-	
14.	18 PRD 22	Practice IV (Equipment)	2	-	
15.	18 PRE 22	Practice V (Electricity, Electronics, Digit)	2	-	
16.	18 PRF 22	Practice VI (Electricity, Electronics, Digit)	-	2	
17.	18 PRG 22	Practice VII (Measuring and Tuning I)	2	-	
18.	18 PRH 22	Practice VIII (Measuring and Tuning II)	-	2	
			10	9	
IV.		GUIDANCE			
19.	18 MLK 22	Work Report Paper	-	2	
			17	23	
20.	00 OR 00	Sports and Health			
21.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA III: PROGRAM CULTURAL AND ENTERTAINMENT PRODUCTIONS (PROBUDHI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			V	VI	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 BNE 32	English V	2	-	
2.	00 BNF 32	English VI	-	2	
3.	00 BIC 32	Indonesian III	2	-	
			4	2	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
4.	12 KAY 32	Cross Cultural Communica- tions	-	2	
5.	12 SOY 32	Cultural Sociology	-	2	
6.	12 PRU 32	Program Show Stage	2	-	
7.	12 APY 32	Cultural Appreciation	2	-	
			4	4	
III.		SKILL SUBJECT			
8.	12 PAE 32	Program Production IV	2		
9.	12 PAF 32	Program Production V	-	2	
10.	12 EAD 32	Program Production's Aesthe- tics and Artistics IV	-	2	
11.	12 PYB 32	RTF Directing II	-	2	
12.	12 STS 32	Traditional Art	2	-	
13.	12 KGI 32	Choreography	2	-	
14.	12 MSK 32	Musicology	2	-	
15.	12 PRE 34	Practice V	4	-	
16.	12 PRF 36	Practice VI	-	6	
			12	12	
IV.		GUIDANCE			
17.	12 KI 32	Scientific Work	-	2	
			20	20	
18.	00 OR 00	Sports and Health			

MULTI MEDIA TRAINING CENTRE
Y O G Y A K A R T A

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA III: SCENARIO AND STORYBOARD WRITINGS (POREGA)

NO.	CODE	S U B J E C T	SEMESTER		ITEMS
			V	VI	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 BNE 32	English V	2	-	
2.	00 BNF 32	English VI	-	2	
3.	00 BIC 32	Indonesian III	2	-	
			4	2	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
4.	15 BAV 32	Visual Language	-	2	
5.	15 SOY 32	Cultural Sociology	-	2	
			0	4	
III.		SKILL SUBJECT			
6.	15 SKA 32	Scenariography I	2	-	
7.	15 SKB 32	Scenariography II	-	2	
8.	15 ANS 32	Script Analysis	-	2	
9.	15 KRT 32	Characterization	2	-	
10.	15 ANA 32	Animation I	2	-	
11.	15 ANB 32	Animation II	-	2	
12.	15 PRE 32	Practice V	4	-	
13.	15 PRE 34	Practice VI	-	6	
			10	12	
IV.	GUIDANCE				
14.	15 KI 32	Scientific Work	-	2	
			14	20	
15.	00 OR 00	Sports and Health			

CURRICULUM PROGRAM STRUCTURE

DIPLOMA III: STUDIO PRODUCTION ENGINEERING (PERSTOSI)

NO.	CODE	SUBJECT	SEMESTER		ITEMS
			V	VI	
I.		GENERAL SUBJECT			
1.	00 BNE 32	English V	2	-	
2.	00 BNF 32	English VI	-	2	
			2	2	
II.		BASIC SKILL SUBJECT			
3.	18 ATC 34	Aspect on Program Production Technique III	-	4	
4.	18 SMB 33	Musics II	3	-	
5.	18 SMC 32	Musics III	-	2	
6.	18 MJB 22	Technique Management II	2	-	
			5	6	
III.		SKILL SUBJECT			
7.	18 TAB 32	Technique on Audio II	2	-	
8.	18 TVB 32	Technique on Video II	2	-	
9.	18 TSC 32	Sound System III	2	-	
10.	18 TFC 32	Technique on Synthesizing and Editing Picture III	2	-	
11.	18 RPT 33	Program Production Equipment Set Planning	-	3	
12.	18 PRG 32	Practice VII (Equipment)	-	2	
13.	18 PRH 34	Practice VIII (Program Production I)	4	-	
14.	18 PRI 34	Practice IX (Program Production II)	-	4	
			12	9	
IV.	GUIDANCE				
15.	15 KI 32	Scientific Work	-	2	
			19	17	
16.	00 OR 00	Sports and Health			
17.	00 KKP 00	Job Safety and Instalation Experience			

JOINT COMMITTEE MEETING OF THE MMTG PROJECT

YOGYAKARTA, JUNE 1992

CONTENTS

1. THE CURRENT SITUATION
2. PLANNING FOR EXPANSION
3. CONCLUSION

JOINT COMMITTEE MEETING OF THE MMTC PROJECT

1. The Current Situation

Multi Media Training Centre which was inaugurated seven years ago had already graduated some 612 students of Diploma I, and 120 students of Diploma II. Beside the mentioned Diploma Program, MMTC had also conducted short term courses jointly with foreign organizations such as JICA - NHK of Japan; TTC - SFB of German; and AIBD. At least four programs on Broadcasting Field of short courses conducted by MMTC in collaboration with foreign Education and Training Institutions annually. In average every program of short term course participated by 25 trainees from RRI and TVRI through out Indonesia, as well as some participants from MMTC.

For this Academic Year (1992 - 1993), MMTC is educating and training some 120 students of Diploma I; ⁶⁰~~40~~ students of Diploma II; and for the first time, 24 students of Diploma III. Meanwhile for the Non Diploma Program, MMTC is going to organize some short courses jointly with JICA - NHK, among others :

1. Educational Broadcasting and Production of Scientific Program, to be conducted next July 20th up to August 6th, 1992.
2. Electronic Field Production for Cameraman, to be conducted next July 20th up to August 6th, 1992.

2. Planning For Expansion

Since its establishment, MMTC has planned to be a Training Centre for both Audio-Visual Media; Print Media; as well as Traditional Media. Up to this present, MMTC just concentrated on the Education and Training for Audio-Visual Media. Therefore, it is the time for MMTC to think about the expansion both vertically and horizontally. Vertically, MMTC would like to conduct Diploma IV Program on Audio-Visual Media. While horizontally, MMTC is thinking to conduct education and training on Print Media (Department of Publication and Press); Video and Film Media (Department of Video and Film); and Traditional Media (Department of Public Information). For Non Diploma Program, MMTC has the plan to organize International Course on Broadcasting Field.

In order to realize the above planning, the feasibility study should be conducted, especially to make priority which expansion program can be realized first. Some determinant variables must be considered in the feasibility study, namely :

1. the budget
2. the supporting facilities
3. the capability of the instructors both quantitatively and qualitatively
4. the learning - teaching system, consists of the curriculum development; evaluation technique; and administration system
5. and the main variable is "the participant to be trained and educated"

Attached herewith is the detail information about this expansion plan of MMTC.

3. CONCLUSION

Based on the Decree of the Minister of Education and Culture of the Republic of Indonesia Number : 0686/4/1991, dated December 30th, 1991, the Multi Media Training Centre will be acknowledged as a "Higher Education Institute" of the Ministry of Information of the Republic of Indonesia. Therefore the MMTC has to execute the Diploma IV Program of Radio and Television Department, and other Departments which have already been decided in the MMTC Master Plan, namely :

1. The Department of Public Information
2. The Department of Film and Video
3. The Department of Publication and Press.

ATTACHMENTS

PROGRAM OF MAJIC YONKAWARTIA
IN THE SIXTH FIVE-YEAR DEVELOPMENT PLAN
(1994/1995 - 1998/1999)

NO	PROGRAM (TYPE, FORM, COMMUNITY)	Y E A R											
		1994/1995	1995/1996	1996/1997	1997/1998	1998/1999	REPELLITA VI						
		TARGET	BUDGET	TARGET	BUDGET	TARGET	BUDGET	TARGET	BUDGET	TARGET	BUDGET	TARGET	BUDGET
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	EDUCATION OF PRESS INFORMATION AND INFORMATION COMMUNICATION												
	1. Department of Radio - Television												
	Study Program												
	a. Diploma I	5 SP	966.836.000	5 SP	1.077.133.000	5 SP	1.187.429.000	5 SP	1.297.726.000	5 SP	1.408.022.000	5 SP	5.937.146.000
	b. Diploma II	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	120 P	509 P
	c. Diploma III	6 SP	1.087.118.000	7 SP	1.291.540.000	8 SP	1.476.166.000	8 SP	1.670.692.000	8 SP	1.865.218.000	8 SP	7.390.830.000
	d. Diploma IV	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	72 P	11 SP
	2. Department of Public Information	4 SP	584.982.000	4 SP	724.244.000	4 SP	863.545.000	4 SP	1.002.827.000	4 SP	1.142.169.000	4 SP	4.317.726.000
	a. Diploma I	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	3 SP	1 SP
	b. Diploma II	24 P	522.000.000	24 P	793.000.000	24 P	1.174.500.000	24 P	1.761.750.000	24 P	2.442.625.000	24 P	6.983.875.000
	3. Department of Film and Video												
	a. Diploma I	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP	1 SP
	b. Diploma II	24 P	185.752.000	24 P	207.402.000	24 P	229.133.000	24 P	250.823.000	24 P	272.513.000	24 P	1.145.663.000
	4. Department of Publication and Press												
	a. Diploma I	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	b. Diploma II	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	c. Diploma III	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	d. Diploma IV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Total Budget Needed	19 SP	23.346.684.000	22 SP	24.073.479.000	23 SP	24.936.773.000	28 SP	6.699.527.000	32 SP	9.127.632.000	32 SP	27.178.095.000
		277 P		300 P		312 P		400 P		432 P		1716 P	

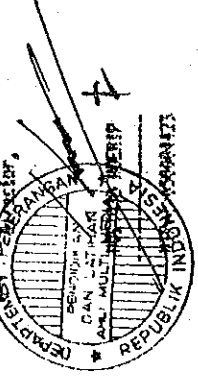
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	18 SP 272 P	17,142,504,000	22 SP 306 P	14,871,472,000	23 SP 312 P	14,970,773,000	28 SP 420 P	5,699,537,000	32 SP 432 P	9,127,432,000	32 SP 1751 P	27,179,405,000
II. TRANSITION OF PHYSICAL FACILITY												
1. Facility of Building												
a. Equipment and Machine												
b. Building												
2. Maintenance of Facility												
a. Equipment and Machine												
b. Building												
c. Operational Transportation												
TOTAL BUDGET												
		15,987,528,000	17,511,727,000	15,809,974,000	15,809,974,000	15,809,974,000	19,192,459,000	10,102,459,000	10,102,459,000	10,102,459,000	37,579,841,000	37,579,841,000

Note :

- SP : Study Program
- P : Person
- 11 : See attached sheet II
- 12 : See attached sheet III

Yogyakarta, June, 1992

Medimedia Training
Centre Yogyakarta



PROPOSAL OF PHYSICAL CONSTRUCTION
AND PROVISIONING OF TRANSPORTATION FACILITY
1993 / 1994

11. Salary and Allowance

1. Honorarium for Counsellor	: 5 persons x 12 months x Rp 50.000 = Rp 3.000.000,-
2. Honorarium for Supervisor	: 5 persons x 12 months x Rp 50.000 = Rp 3.000.000,-
3. Honorarium for Organizing Staff	: 5 persons x 12 months x Rp 45.000 = Rp 2.700.000,-

	Rp 8.700.000,-

13. Material

1. Stationery	: 12 months x Rp 250.000,- = Rp 3.000.000

	Rp 3.000.000,-

14. Equipment and Machine

1. Operational Transportation and Modification	: 2 units x Rp 75.000.000,- = Rp 150.000.000,-

	Rp 150.000.000

16. Construction

1. Classroom (2 floors, 6 rooms)	: 6 classes x 52,8m ² x 2 floors x 1,09 x Rp 570.700 = Rp 394.139.120,-
2. Housing of Instructors (two floors)	: 700 m ² x 1,09 x Rp 570.700,- = Rp 435.444.100,-

	Rp 829.583.220

17. Other Spendings

1. Costs of Document and Documentation	: 12 months x Rp 175.000,- = Rp 2.100.000,-
2. Costs of Operational Transportation	: 2 units x 12 months x Rp 350.000 = Rp 8.400.000
3. Costs of Accommodation and Travel for Officials	: 5 persons x 4 x 5 days x Rp 158.275,- = Rp 15.827.500
4. Costs of Permission of Building Construction (5/1000 x value of building)	: 1 x Rp 4.147.920,- = Rp 4.147.920,-

	Rp 30.475.420

J U M L A H Rp 1.021.798.640,-

PROPOSAL OF PHYSICAL CONSTRUCTION
1994 / 1995

5211. Salary and allowance

1. Honorarium for Counsellor	: 5 persons x 12 months x Rp 60.000	= Rp 3.600.000,-
2. Honorarium for Supervisor	: 5 persons x 12 months x Rp 60.000	= Rp 3.600.000,-
3. Honorarium for Organizing Staff	: 5 persons x 12 months x Rp 50.000	= Rp 3.000.000,-

		Rp 10.200.000,-

5213. Material

1. Stationery	: 12 months x Rp 300.000,-	= Rp 3.600.000,-

		Rp 3.600.000,-

5215. Construction

1. Dormitory (4 floors)	: 2.050m ² x 1,135 x Rp 614.600,-	= Rp 1.430.020.550,-
2. Sport Building	: 1.340m ² x 1 x Rp 548.800,-	= Rp 735.392.000,-
3. Mechanical Workshop	: 200m ² x 1 x Rp 508.800,-	= Rp 109.760.000,-
4. Warehouse	: 50m ² x 1 x Rp 548.800,-	= Rp 27.440.000,-

		Rp 2.302.612,-

5217 Other Spendings

1. Costs of Document and Documentation	: 12 months x Rp 210.000,-	= Rp 2.520.000,-
2. Costs of Accommodation and Travel for Officials	: 5 persons x 4 x 5 days x Rp 197.895,-	= Rp 19.784.500,-
3. Costs of Permission of Building Construction (5/1000 x Value of building)	: 1 x Rp 11.513.065,-	= Rp 11.513.065,-

		Rp 33.817.565,-

J U N I 9 5

Rp 2.350.230.117

t

PROPOSAL OF PHYSICAL CONSTRUCTION

1995 / 1996

5911. Salary and Allowance

- 1. Honorarium for Counsellor : 5 persons x 12 months x Rp 75.000,- = Rp 4.500.000,-
- 2. Honorarium for Supervisor : 5 persons x 12 months x Rp 75.000,- = Rp 4.500.000,-
- 3. Honorarium for Organizing Staff : 5 persons x 12 months x Rp 55.000,- = Rp 3.300.000,-

Rp 12.300.000,-

5913. Material

- 1. Stationery : 12 months x Rp 350.000,- = Rp 4.200.000,-

Rp 4.200.000,-

5914. Construction

- 1. Dormitory (4 floors) : $2.050m^2 \times 1,135 \times Rp 698.500,-$ = Rp 1.532.164.875,-
- 2. Musholla (a place for praying/small mosque) : $375m^2 \times 1 \times Rp 588.000,-$ = Rp 220.500.000,-
- 3. Classroom (6 rooms, 2 floors) : 6 classes x $52,8m^2 \times Rp 658.500 \times 2$ flrs x 1.09 = Rp 454.775.900,-
- 4. Housing of Leaders : $120m^2 \times 1 \times Rp 588.000$ = Rp 70.560.000,-
- 5. Garage for 3 units OR VAN : $150m^2 \times 1 \times Rp 588.000$ = Rp 88.200.000,-
- 6. Paths in the Complex : $4.100.m^2 \times Rp 51.055$ = Rp 209.325.500,-
- 7. Drainage in the Complex : $500 m^2 \times Rp 51.055$ = Rp 209.325.500,-
- 8. Fences for Housing of Leaders : $75 m^2 \times Rp 119.465$ = Rp 8.959.875,-

Rp 2.793.811.650,-

5917. Other Spendings

- 1. Costs of Document and Documentation : 12 months x Rp 262.500,- = Rp 3.150.000,-
- 2. Costs of Accommodation and Travel for Officials : 5 persons x 4 x 5 days x Rp 247.500 = Rp 24.750.000,-
- 3. Costs of Permission of Building Construction : 1 x Rp 13.969.060,- = Rp 13.969.060,-
(5/1000 x value of building)

Rp 41.869.060,-

J U M L A H Rp 2.832.180.710,-

+